夕刊
新京日日新聞
定價　一ヶ月金一圓八十錢　一部金五錢
發行所　新京永樂町四丁目一番地　新京日日新聞社　電話三〇〇〇・二三二五番
發行人　十河柔忠　編輯人　松本　印刷人　谷啓二郎

中谷時計店　新京日本橋通一九　奉天春日町　貴金屬寶石店カメラ

滿洲保險業令 八月から實施
損害保險は日滿合辨で統一　生命保險は國營に

滿洲國財政部に於ては全滿三千萬民衆の生活安定を圖り、國內保險業の統制管理を

＝實行＝ すべく保險國營計畫を樹立、既に保險業令並びに施行細則起草を完了し近く法政局に廻附遲くも六月中には公布を見、八月一日より施行するものと觀測されてゐるが原則としては生命保險は國營とし中央に保險局を新設、保險系統の單一化を圖り、損害保險に於いては日滿合辨會社を設立して群小雜多の保險會社の併合、統一を企圖して居るが、現在全滿に本社又は營業所を有する百余社に上る既存生命損害兩保險會社に對しては一社二萬圓を

＝供託＝ せしめ保險業の信用向上を圖る一方不良業者の排除を行ひ保險業の健全なる發達促進を圖らんとするものであるが、供託總額は二千萬圓の巨額に達する見込みで、供託は原則として現金供託とし特に金建の建國公債の供託を認めるはずである、又これがため營業所閉鎖を餘儀なくされる小會社は四十社の多數に上るものと觀測され、在滿保險業者に一大衝動を與へて居る、尚新設される滿洲國保險局は財政部または交通部所管となし、保險取扱ひは各郵政局をして行はしめることゝなつて居るが、全滿民衆の生活程度を參酌して契約高制限を日本簡易保險同樣五百圓限度、無診査加入となし既存保險會社營業の不當壓迫を極力避け、將來內容が充實すると共に契約高利を

＝漸次＝ 高め、團体保險、虛弱者保險業等を開始する方針である

成績よい中銀
滿鐵の保證銀行に

滿洲國中央銀行は創立以來圓滑なる發達を遂げ、その滿人間に於ける信用も日增に高まりつゝあるが、五月十三日より滿鐵の證券發行貨物引渡保證銀行となつた、これで滿鐵の保證銀行は正金、朝鮮、正隆、滿洲、ニユーヨークナシヨナルシテイバンク、香上と合せて七行となるわけである

龍井村への航空路
全廢される

新京龍井村迄の航空路は今回の敦圖線の開通によつて十七日よりこれを全廢する事となつた

ル米大統領
軍縮、經濟二會議に重大聲明　各國元首に打電

〔ワシントン十六日發國通〕米國大統領は十六日午前十時ワシントンに於て左の如き聲明を發した

余は一般軍縮會議並に國際經濟會議が直ちに成功するに至ることを衷心より希望するもので、之が爲に左の諸項を提議する

一、平和促進に對する協約、條約を確立せんが爲、マクドナルド英首相の提議にかゝる軍縮案を採擇することゝ
一、此等の手段を助長する諸協議に關する會合の時と場所に就いて協定を作ること
一、如何なる理由あるも軍備を擴張せざる旨の協定を作ること
一、總ての國家は其の性質の如何を問はず國境を越えて武裝兵力を派遣せざることを誓約すること

萬一或る強國が一方ジユネーヴに於て他方ロンドンに於て行はるべき平和事業に對する共同の努力に對し參加することを拒絶した場合は、此等の事業の發展を阻害されるだらう、余は總ての國家が此等の大事業に欣然參加し、既に闡明した諸政策を行動に移す爲に協力すべき事を力說するものである、是は實に政治的平和の唯一の方法である

右聲明は直ちに各國の元首に宛て打電された

我態度考究
御下渡後

〔東京十七日發國通〕米國大統領が各國元首に對し發送せる世界平和の確保強調の聲明書は、十七日朝出淵駐米大使より外務省へ到着した、今回大統領の執れる措置は我國としては前例の無い事で、斯る外交上の方針に關する文書を直接天皇陛下に宛てられることに就ては種々の見解があり得るので、其取扱手續きを重考究中である

尚お聲明書內容に對する我國の態度に就ては聲明書の御下渡しを受けたる後改めて考究する筈だが、右文書を受領せる旨を取敢へず政府で回答することゝなつた

英人經營
福公司炭坑罷業

〔天津十七日發國通〕大公報の十六日發錦州特電によれば英人經營の福公司李封坑坑の工人四百餘名は工賃値上を要求してストライキを起し事務所に押寄せたるに事務所長英人サイクス氏は請願巡警に命じて發砲して工人を追出し工人二名即死重傷・六名を出した

經濟會議
米國代表決定

〔ワシントン十七日發國通〕六月十二日からワシントンに開かれる國際經濟會議に臨む米國代表の顔觸れは十六日左の如く決定した

國際經濟會議米國代表首席　國務長官ハル
同代表　上院外交委員長ピツトマン
同代表　前オハイオ州知事コツクス

經濟會議全權委員代理
補充任命

〔東京十七日發國通〕外務省では世界經濟會議全權委員代理左の通り補充任命した

伊藤述史
齋藤博
商務參事官　津島壽一
大使館參事官　松山晋次郎
加藤外松

大橋外交次長東京着

〔東京十七日發國通〕大橋外交次長は十七日午後四時五十分東京驛着入京した

滿洲事件、職員增加による
外務省職制改正

〔東京十七日發國通〕十七日勅令を以て外務部內臨時職員設置制中改正の件を公布即日より實施されたが、右は滿洲事件に關する職員の增加で本省に事務官二人理事官一人翻譯官一人、屬十三人在外公館に大使館參事官一人、大公使館三等書記官四人、副領事一人、外交官補、領事官補三人書記生三人を增員することゝなつた

日滿教育聯合會
春期總會

新京日滿教育聯合會春季總會は二十一日午前九時から新京高等女學校講堂において開會されるが宣言を發表後鄭國務總理の講演あり次で滿人側三名日本人側三名會員の演說もある筈である

新京日日新聞社　營業部　電話二三二〇〇番

熱河經濟事情（四）
關東軍顧問　鈴木穆氏述

交通

交通は一般に非常に不便で、陸路の不完全に加ふるに、水運に便としては唯一の灤河の水路があるのみであります、これとて河巾は百メートルに足らず水深一メートル半位てありますから、大きな船の交通を許さず例へは灤州、承德間か十日もかかる有樣です、又從來は北平及天津方面からの貨客の交通か主なるものでこの道路は萬里長城を經て山間を縫過するのてあり乍相當修築はされてゐます殊に滿洲本部方面よりの道路は極めて險阻で今回も軍需品等の輸送に非常の困難を嘗めたのであります、故に今後の交通機關としては、錦州北票の鐵道に連絡して、朝陽、凌源、承德の間に將來鐵道の布設せらるゝ計畫中に聞きます、然かし本年中には省內主要地を結ふ自動車道路を完成せしむる豫定で尚北票、承德間は從來の惡路に應急修理を施し五月中には承德迄バスの運轉か開始されます

次ぎに滿洲國鐵道建設計畫でありますか今後五ヶ年間に省內各都市を連絡する約六千粁を完成します、主要線は一つは前述の鐵路と同しく北票朝陽、凌源、平泉、承德の幹線てありまして次は赤峰を中心に其周圍の各重要都市に通ずる道路であります、斯くの如くして政治の中心は承德てありますか、產業の中心は赤峰てありまして滿洲本部とは開魯を通するもの、朝陽を通するもの、及ひ阜新を通するものの都合三主要幹線道路を以て連絡する外錦州、北票を通する鐵道に依り熱河及奉天兩省か連絡せられて、從來の華民國との交易經路は右の奉天省との交通系に變更せられる理てあります、從つて天津北平其他支那との交通路、即ち萬里の長城を通る交通路には滿洲國の税關か設けられます、現に既に主要口には税關吏か出張監視して居ります

通信

交通について必要なものは通信であります

從來は通信と認むへきものは承德及北平、天津間位てありましたのか、今や一般公衆用として承德、赤峰、錦州、朝陽の四ヶ所に無線電信裝置か設けられまして自由に通信か出來る外、有線電話か錦州、北票間に開設致しました

右の外、軍用電信電話として前述各主要都市以外主なる町々を通する有線電話かあり又兵站用の電話も各地に自由に通して居ります、此の外軍用の無線電信及移動式無線電信もありまして通信網は殆んと完璧致しました、政治工作に從事する者及軍記者は右の軍用電信を使用することか許されて居ります故に現在に於ては、熱河の如何なる部分の出來事でも直ちに新京に通信せらるるは勿論、無電に依りて東京方面にも手に取る樣に判る筈であります

交通及通信網の大要は右にて御判り下さつたことゝ思ひますので次て熱河の行政機構として政治方針の概要を申し述へることゝします

怪人凱歌（二百二十）
須藤鐘一（著）　瀧秋方（畫）

更生の人々（四）

眞佐子が歸村した翌日、一臺の立派な自動車が福壽寺の山門前に止まつた。そして中から靜かに出て來たのは、切下髪の山路伯爵未亡人園子であつた。

彼女は白瀧と眞佐子とが廣州へ行つたと聞いて、その後を追ひかけて來たのである。そして福壽寺の書院で、素鏡和尚列座の上、眞佐子、三木老人、白瀧といふ珍しい顔ぶれで對面した。

席上で、彼女は涙ながらに前非を懺悔し、今後は謹慎自重することを一同に誓つた。又、眞佐子は伯爵家の財產を、半分と云はず全部を讓つてしまふと云ひ出した。それを聞くと三木老人は、

『奥樣、ありがたうございます。あの世で御前樣がどんなにお喜びなさる事でございませう』と、ポロ〳〵大粒の涙をこぼす。

『こゝで僕は皆樣に相談したい事があるんですよ』と、白瀧は云ひ出した。『他でもありません、眞佐子さんに財產を半分わけるとか、みんな讓るとかいふやうな事はよして、財產はそのまゝに据ゑおきして、信雄君を伯爵家の世嗣ぎに立て、眞佐子さんを之れに配することにしてはどうです？』と、可なりの自信を以て發議した。

『それで本人同士は何と申しませうかしら？』と、園子はまだ危むのである。

『まア論より證據、眞佐子さんにたづねて見ようぢやありませんか？』といつて、折から席を外してゐた眞佐子を呼びよせて、たづねると、

『わたしたちの事は、何も彼も白瀧さんが御承知の筈ですから、どうぞ萬事白瀧さんにおまかせいたします』と、ハツキリ云ふ。

『信雄さまが伯爵家をおつぎになり、眞佐子樣が御內室樣におなり遊ばせば、先代の御前樣は嘸よりお喜び、奥方樣も嘸御滿足でございませう。私ども、こんな嬉しい事はございません。——之れもみんな白瀧さんのお蔭です。ありがたう〳〵』と三木老人は手をあはせんばかりに感謝する。

そこへ、取次のものが東京から若い二人の訪問者のある事を告げた。それは噂の信雄と千鶴子とが眞佐子の身の上を案じてやつて來たのであつた。それと聞いて素鏡和尚は手をうち、

『さうか、さうか、之れもやはり御佛のお引合せであらう。さア此方へ御案內いたせ』と大ニコ〳〵である。

斯くして福壽寺の書院には、期せずして關係者一同の顔がそろつた。

素鏡和尚を上にして、園子未亡人、眞佐子、今着いたばかりの信雄、千鶴子、三木老人、それに白瀧。白瀧は之等の人々が自分のやつた糸によつて此處に目出度き和解結合を遂げるのだと思ふと嬉しさが胸にこみあげて來て、涙が止めどなく頬を傳うて落ちた。

『さア之れで目出度い話が成立つたのだから、わしがお祝ひのしるしに一杯差上げることにしやう。——こゝでは何だから、あの庭先の櫻の下へ行かう』と和尚が云ひ出した。

一同はすぐに之に贊成して、ぞろ〳〵と庭へおりて見晴らしのあづまやへ集まつた。

二三日前から、此方の勝手元の手傳ひをしてゐる松根とお曾代は自ら進んで料理賄の方を承はり、結構な料理と酒とを運んだ。

人々は深い意味の籠つた盃を汲みかはすのであつた。

此の時、石段の方に慌たゞしい足音がしたと思ふと、白瀧の部下が一人驅けつけた。彼は太野町の紡績爭議も、會社側の大讓歩によつて、圓滿の解決を告げた事を報告した。

『萬歳！萬歳！』と、白瀧は思はず叫んだ。松根とお曾代も之に和した。

折から燦爛の岬に打ち寄せる大太洋の荒波が、白い沫と共に轟々たる音を立てゝゐる。それが、此方に萬歳をあげてゐる更生の人々には、愉快な凱旋の聲とも聞きなされるのだつた。（終り）

日日案內　三行　一回金九十錢　五行　一回金三十錢　十行　一回金八十錢　被曜度　一回金一圓五十錢　姓名在社　一回金十錢增　御申込みは電話二三二〇〇番

金銀　高値買入　遺金　文化　東二條通り廿五　橫濱屋質店

はねつぎ專門　清水整骨院　電氣治療部　電話（取次）三七五四番　新京入舟町二丁目七番地ノ四

急告　小資本にて居ながら出來多大に儲る營業法方は面會の上希望者來談　新京大和通一番地　昭和館內　東京順天堂藥房

將棋教授　定跡…指手筋等、懇切指導　詳細は電話三一五九、三段宮本金三　富士町三　大吉へ

都山流尺八指南　初心の方歡迎す　師範　西田方山（ヤマトホテル裏）

洋帳簿　各種製本專門　三笠町三ノ九　三省堂製本所　電話三三三四番

新聞の御用は　讀賣新聞又ハ東京各新聞御用命ハ電話三四九五番　新京吉野町一丁目　三浦新聞店

琴、三絃　出張教授　中島大勾當　羽衣町三、一五、三、大橋方

女給入用　收入の點は保證致ます　日本橋通り　新橋　電話三一三一番

姥母　女中入用　當方小家族希望者詳細來談　新京新發屯滿洲國官史住宅十九號

ほねつぎ專門　今辨慶療院　新京室町公學校前

被雇度　工業卒多少華語解す　方廿五　五分望給　電三四四八　石塚

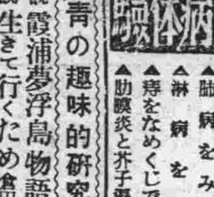
滿洲國政府公報取扱　東朝、大朝兩新聞社發行物一切　大阪東京朝日新聞販賣所　大滿蒙新聞　滿日會　栃尾新聞舖　東一條通二　電話二三四二

特輯　趣味と健康
六月號　健康之光
◎趣味！諸大家感想集　弓術と健康　根矢師範　柔道と拳鬪　古賀段　乘馬と痔疾　河野ドクトル　撞球と趣味　山田浩二　麻雀と健康保持　川崎七段　ダンスの効果　杉本博士　謠曲と健康價值　海部ドクトル　圍碁と健康を語る　久保松六段　水泳と中耳炎　加藤博士　登山と眼疾　中村ドクトル　拳鬪の大衆化　日倶會長　映畫人と健康　渡邊勇次郎　音樂家の健康　田中絹代　健康と野球と　荻田十八三　釣の趣味　早大選手　荻原實男　太田雷伯
醫學者の見た趣味と健康　諸岡博士　趣味の心理と衞生　津金博士　病氣と讀書　金子準二　飲食と睡眠　青野原博士　坂上博士
文士の趣味と健康　新居格
性病と家庭爭議　醫學博士朝岡稻太郎　肥厚性鼻炎と蓄膿症　增井博士　結核と食餌療法　永井博士　チフテリアの豫防　井口博士　肺結核と氣胸療法　住吉博士　膽石とその療法　日野博士
美人の靈感療法　阿部美佐子
難病体驗　▲神經衰弱を趣味で治す　▲肺病をみゝずで征服す　▲淋病を靈貘で治す　▲痔をなめくじで治す　▲肋膜炎と芥子濕布
刺靑の趣味的研究
傳說　霞浦夢浮島物語　小說　生きて行くため　倉田潮　戲曲　悲しみの歌　玉崎久津男　幕末浪士組事變　白井紀一　淺草レビューガール內幕話
定價　卅五錢　全國書店に有　東京・麴町區・飯田橋驛前　健康之光社　振替東京二八〇二番

和洋家具製作販賣

家屋修繕諸工事請負　幸昇號　祝町五丁目（モスコー東入）　中村製綿所前　取次（電話二一六一番）　日本人熟練職工數名ニテ迅速御注文ニ應ジマス

新荷着　洋傘　日傘　ショウル　ステッキ　レート化粧品代理店　百貨店　金泰洋行　電話二一五九　二三八八番　振替大連三四三番



新案特許　國際エヤーコンロ發賣
恐嘆すべき本品の特長
一、火起簡單（新聞紙半枚で火が付く）（危險のない便利な木炭コン）
一、消火完全
一、火加減自由
一、燃料大經濟
一、各燃料兼用
一、掃除簡便
一、耐久力强大
一、價格低廉
一、體裁優美
新京發賣店　吉備洋行　祝町二丁目　電話二八三　室町二丁目　食料品と本炭の店　藤村商店　電話二四二〇

草履のシーズンは訪れました　小林の履物は皆樣の御手許へ參るべく最新流行の御履物が澤山參りましたどうぞ御來店を　輸入組合加盟商　小林履物店　電話二三四四番

お茶　世帶道具、陶器類色々　三笠町二丁目　河久商店　電話三二〇四

時計　眼鏡　吉野町二丁目　金華堂時計店　電話二六四五番

森永ミルクキャラメル
よい菓子を安心して買へる店

敗戰に次ぐ敗戰で支那北平を放棄か

南方地區に新陣地を構築準備　最後の一戰を決意

（天津十八日發國通）唐山より通州に向つて總退却中の第六師は十五日通州に到着更に南方に向つて退却を開始した、其他北寧線により第五十七、六十七師等も楊村に送られつゝあり、十五日朝天津總站引込線にあつた兵を滿載せる二個列車又午後二時に至つて楊村に向つた、かくて支那側は前線よりの後退兵を悉く楊村南方に移動せしめつゝあるが、右は既に北平放棄を決意し北平南方地區に新陣地を構築して日本軍と最後の一戰をなすべく準備しつゝあるものと見られてゐる

何、引責辭職か

（上海十七日發國通）何應欽は自己の力では時局拾收不可能を知り、近く中央及び蔣介石に引責辭職を申出づる筈であると

尻尾を出しかけた支那

狼狽の支那側停戰提議を依賴

我軍部不誠意の策謀に乘らず

（東京十七日發國通）北支那方面の事態は關東軍が長城線を越えて關内に進出し、遂に唐山、密雲方面に進擊したる爲、人心動搖し支那側は極度に狼狽し、各方面に泣を入れて停戰を計つて居るが、右に對し陸軍中央部の意嚮は次の如くである

支那側は某方面に停戰を申込んだとの情報があるがこれは眉唾もので、何處迄誠意が含まれて居るか戒心せねばならぬと思はれる。

第一に支那の第一線一帶は現在尙執拗な挑戰を繼續し北支の軍憲は抵抗乃至決戰に關する命令を下し、之が部署に就かしめて居る

第二の停戰は相互の責任者が最も確實なる方法で堂々と交涉すべきであるに拘はらず、責任者とも認めることの出來ない第三者が筋違ひの方面に口頭を以て之を持出すが如き、其眞意の程も疑はしく、支那の陰謀には最早飽滿してゐる、停戰交涉の策動が皇軍の鋭鋒を暧昧せん爲の一時の方便でないと唯が保障し得よう、しかし支那が目下四苦八苦の情態であることは明瞭である、支那當局が東亞の大局を達觀し一大勇斷を以て無益なる抗日を淸算するは急務中の急務である吾人は停戰交涉を云々するに先だち彼等の誠意の披瀝を強く求めざるを得ない

未だ輕々しく妥協の時期でない

黄郛委員長赴任の途語る

（天津十七日發國通）本日ぞ津通過北平に赴いた黄郛は列車中に出迎へた支那新聞記者の質問に左の如く答へた

問　華北動搖中津危急の際委員長（黄郛を指す）の來北は非常に一般に期待されてゐるが如何なる辦法を以て時局拾收、人心の安定を計らるゝや

答　余は中央の意思を受けて北上したれば總て中央の命のまゝに處理するが各方面の意見を尊重し其間に一致點を見出し得可く、之を治政の方針とすれば民心は安定するものと考へる

問　北平に於て地方交渉を開始するか

答　一面抵抗一面交涉は再三聲明した既定の方針である北平到着後若し必要あれば各方面と接洽すべし

問　近來謠言しきりにげはれ妥協說が有力に傳へられてゐるが、右說の確否如何

答　右については余に未だ聞いたことがない今は輕々しく妥協を言ふべき時期でない

問　北平を書して緩衝地帶となし、政治機關丈けを留めて軍事機關を他に移すとの說あるも如何

答　北平は文化區なりと言はれてゐるが緩衝區との說は始めて聞いた

問　華北政務の整理方針如何

答　それは甚だ複雜である、北平到着の上各委員と相談の上先づ組織を定めた上、共同して研究せねばならぬ行政については大綱を開いて決すべきであるが、先づ行政整理事務に着手し、大會を待つやうにしなければなるまい、軍事については何應欽が北平に居るから一切協議の上處理する何れにせよ着平と同時に各委員と面會委員會を正式に設立せしめてからの事だ

何應欽保定へ

こう〱逃げ出す

（北平十七日發國通）何應欽は四圍の形勢不利と見て、十六日特別列車に乘り身を以て保定に遁走した

日滿軍の入城歡迎

（山海關十七日發國通）日滿兩軍の追擊に灤西南部唐山の線には殆ど敵影を見ず、丁當事は目下唐山に向け一路躍進を續け今明日中には入城の豫定である、尙唐山市内は既に滿洲國旗を掲げ、日滿軍歡迎の大アーチさへも作られんとしつゝあり

皇軍長城復歸を仄かせば支那側增長して積極戰鬪を强調

（天津十七日發國通）我軍の長城復歸說に三四日來支那側は復又增長し來り各支那紙は一齊に

日本軍は從來も屡々かゝる聲明をしたが一度撤兵を聲明すれば一步進んで襲擊して來る事實から見て吾々は決して之を信用してはならぬ吾等は正に具體的の戰時計畫を樹つべきだ

と述べ十七日夕刊の如きはこの際積極攻擊に出づべきだと激越な調子で論じてゐる

狂瀾を既倒にめぐらさんと

何柱國、萬福麟敗兵を收容

（天津十八日發國通）唐山を後退せる敵軍は蘆臺漁沽に集結し北塘河に沿ふて陣地を構築しつゝある

十七日何柱國は司令部に運糧城に萬福麟は更に後退楊村に總指揮部を設け敗退兵を收容してゐる

家族と動產をイタリー租界へ避難

―于學忠愈々逃腰―

（天津十七日發國通）于學忠は十五日午後其家族及び動產をイタリー租界に避難せしめた

滿洲問題に就き米國へ警告す（三）

米國記者 ナサニール・ペッファー論說

紛爭は防壓も停止も出來なかつた

何故ならば此の紛爭たるや既に述べたる原因の作用に依つて惹起されたものであるから好都合に此の特殊事件を一時制止し得たとしても根本的鬪爭は後日に至り同樣の事件が原因となつて再開されるのを待つばかりである

所が實際は鬪爭の一時制止すら出來なかつた、日本は計畫通り行動を進めて滿洲を併呑し究極の合併に至る過程として滿洲國と呼ぶ新國家を作り上げて了つた

事件は一要因亞米利加の文府の登場が無かつたならば或は終局したものと聲名し得たのであろう

亞米利加は干涉を始めた今日迄の歷史を繙に極東に於ける各國勢力の平均する場合入勢を決するものは亞米利加の加入であつた事が判明するのである。干涉するばかりでなく、明瞭な言質を作り無意識或は故意に世界事件の新位置に向つて動いたのである。滿洲國に關する亞米利加政府の宣言は自由主義者達に依つて盛に歡迎せられたものであるが之を取り消さぬ限りモンロー主義に劣らぬ拘束があり

而も遂行する事は無限に、より困難な誓となり政策となるであろう

亞米利加は我等を世界の最も戰爭と云ふ火災の起り勝ちの地域に追ひ卷り本來原狀維持の爲もに安定なる土地をして原狀維持主張者たらしめ由緖疾的國際紛爭の渦中の一遊擊兵とし我等を參加せしめんとするものである

若し此の宣言を取消すに非ずんばモンロー主義以上に世界の歷史の過程に確然たる影響を及ぼすに至るであろう何となればそれは南米以上に鬪爭の目的になつてゐる地方に關する宣言であり且つ南米の場合程に辯護の容易でない立場を述て居るものであるからである。

此の事實に關しては亞米利加は不思議にも氣付かず、全く批判的でない樣である

國務大臣スチムソン氏は以前一度ならず再度までも滿洲に於て如何なる事件が惹起したるかを存ぜずと公表した、（註昨年一月七日日支兩國政府に宛てた通牒と二月二十四日ボーラー氏に宛てた公開書翰をす）彼はケロッグ條約に反して武力に依り惹起した政治的變化を米國政府は認めぬと云つて居るのであろう、滿洲に於ける變化を推論的言方以上に斯の如きもの（即ちケロッグ條約に反して武力に依つて齎された變化であると）見做したのである

彼は紐育に於て外交調査會の席上（昨年八月八日の演說）熟考の上使用した言葉に明白に侵略の果實として新國家の成立を日本の庇護下であると批評して居る

滿洲文化の跡を誇る名所古蹟保存

文教部で調査計劃を進む

滿洲國政府に於ては過去數千年に亘る文化の跡を顧ると古寺社その他建造物、天然記念物等世界に誇るに足る文化の遺跡があるが、各種建設事業の進展と現代文化の侵入に連れこれ等遺跡の次第に失はれ行くを防止のため、所管文教部ではこれが保存の爲の古蹟遺跡天然記念物に關する保存法を制定各方面の專門家を選び古蹟指定保存の計劃を進めてゐるがこれが調査は莫大なる手數と經費を要するので早急なる實現法は不可能であるが、大同二年度豫算再過を見れば、調査の第一步を踏み出すものと見られ、期待されてゐる

石門鎭に向け我軍行動開始

服部部隊の主力は十六日午後遷化に進入せしが洪山口方面より追擊せし米山部隊も又十七日遷化に於て主力に合し服部部隊長は高森砲兵少佐の指揮する有力なる追擊隊を十七日石門鎭方向に前進せしめ十八日早朝自ら主力を率いて石門鎭に對して行動を起した

日本人發受の電報を嚴重檢閱せよ

中央交通部の命令

（天津十八日發國通）天津電報局は中央交通部より日本各機關は勿論一般日本人より日本内地との發受及滿洲各地との電報は特に嚴重檢閱し、不審の點ありたる際は直ちに交通部の指令指示を受けたる後處理すべしとの嚴令を受けたので、當地發受電報の檢閱は本朝來嚴重を極めてゐる

坂本部隊

其後判明せる負傷者

（王家店十六日發國通）宮崎、大橋特派員）其後判明せる坂本部隊の負傷者氏名左の如し

上等看護兵	飯田勇夫
步兵上等兵	上村政雄
同　同	兒玉義喜
同　同	森　正秋
同　一等兵	太田利義
同　上等兵	髙野義行
同　一等兵	諏訪本立夫
同　同	阪村　茂
同　同	濱口　要
同　同	楠　武也
同　同	有山善松
同　同	桑原榮藏
同　伍長	今別府一夫
步兵上等兵	曜榮　明
同　同	大西弘榮
同　同	有水隆信
同　一等兵	内村　久
同　伍長	尾崎　淸
砲兵伍長	松原　昇
同　上等兵	藏丸　等
同　同	岩本一衛
同	對平喜吉
工兵上等兵	升山繁次
步兵一等兵	山下岩二
同　特務曹長	平田喜代
同　一等兵	田代重利
同　同	小牟禮時義
同　同	岡野　繁
同　曹長	江島　弘
同　一等兵	高島　[illegible]
同　上等兵	[illegible]

我長城復歸の機を窺ふ

（天津十八日發國通）遵化豐潤より退却せる萬福麟、何柱國、王以哲等の軍は薊縣に至る運河西岸の陣地に集結して我軍の長城復歸の氣勢を待つて一擧反擊に出んと準備しつゝあり

黄郛北平着

軍政首腦を招き時局收拾策協議

（北平十八日發國通）黄郛は十七日午後四時半北平着直に居仁堂に何應欽を訪ひ重要協議をなし、午後七時何應欽の招宴に臨み、午後九時中南海に軍政兩界の首領袖を招き華北の時局收拾に就て重要協議をなし、密談二時間に亘り午後十一時散會した

又しても天津に爆彈騷ぎ

日佛租界戰々競々

（天津十七日發國通）十七日午後九時天津佛租界二十二號路に爆彈を抛擲したものあり爆音は轟然として日租界に響き人心競々、詳細は未だ不明なるも目下當局は犯人嚴探中である

人事往來

▲岡村副長十八日午後七時五十分來京
▲租介石氏（吉林省双城縣々長）十八日午後九時吉林へ
▲多田少將（軍政部最高顧問）十八日午後十時奉天へ
▲照財政部總長十八日午後零時三十分吉林へ
▲兒島少佐（吉林省警務顧問）十八日午後四時三十分吉林へ
▲城戸元亮氏（大每取締役會長）同上
▲城戸四郞氏（松竹撮影所長）十七日來京中央ホテルへ投宿十八日ハルビンへ
▲川上營業所長（松竹）同上
▲林警務局長（關東廳）十八日大連へ
▲上床紀夫氏（醫學博士、北海道帝大敎授）十六日來京滿蒙旅行へ
▲佐野博士（日本大學工學部長）十七日來京國都ホテルへ

團體

▲下關商業學校生徒四十名十八日午前六時四十分來京同午後零時四十分南行
▲大阪市淀川區役長以下六名十八日午前六時四十分來京同八時三十分吉林往復
▲小倉商業生十八日午前九時五十分公主嶺へ
▲朝鮮教育團十八日午後六時四十分來京吉林往復
▲上野陸軍局十八日午後四時吉林往復
▲東京第二商業學校生二十三名十八日午前六時四十分來京同午前八時四十分ハルビンへ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	[illegible]
同　遠期	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲綿花

米綿	綿花
現物	[illegible]
七月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
●印綿	
ブローチ	[illegible]
ベンゴール	[illegible]
オームラ	[illegible]

▲上海票金

昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
本當	[illegible]
步値	[illegible]

▲上海日本向

第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

▲上海倫敦向　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲上海紐育向　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲大連金鈔票　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

現物	[illegible]
寄付値	[illegible]
步近値	[illegible]
引高値	[illegible]
出安値	[illegible]
止來	[illegible]

▲大連上海向　[illegible]

▲大連臺台向　[illegible]

▲阪神日米爲替

第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

▲阪神日英爲替　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

各地市場

▲大阪株式　▲同短期　▲大連株式　▲大阪三品　▲大阪棉花　▲大阪期米　▲橫濱生糸　▲仁川期米　▲神戶豆粕　▲大連特產（●大豆　●豆粕）

[illegible]

新京市況

▲哈爾賓特產　●大豆　[illegible]

●高粱　[illegible]

▲カアカツタ麻袋　[illegible]

▲錢鈔（現物）

鈔票對金票	[illegible]
大洋對金票	[illegible]
國幣對金票	[illegible]
大洋對鈔票	[illegible]

公示

新京水道は水量充分ならざるため完全なる鐵管沖繼不能につき當分の間煮沸して飲用に供せられ度く右公示す

昭和八年五月十七日

新京地方事務所　荒木章

入船町二丁目十七番地三、四の家屋右拙者所有家屋は何人樣にも御貸し致しません

家主　三宅濱治
新京飛行場前　二〇八八番

佐賀縣人野遊會

恒例により左記の通り佐賀縣人會春季家族會相催し候條御入會の有無に不拘御誘合せの上御來會被下度此段御通知申上候

一、日時　來廿一日午前九時（當日雨天の場合は二十八日に延期）
一、場所　西公園誠忠碑前
一、酒、サイダー、茶菓の準備あり（辨當は各自御持參下さい）

新京　佐賀縣人會
新京三笠町二丁目宮崎藥房内
電話（三七五〇・一九一八）番

柔道整復師界の權威　桑山療院の開院

診療科目

骨（ほね）折（おれ）　脫（だっ）臼（きゅう）
捻（ねん）挫（ざ）　打（だ）撲（ぼく）

殊に療法を誤りたる其古傷

院長の經歷と資格
元大阪府柔道整復師會々長
元（整骨專門）京町病院院主
現大阪桑山整骨療院長
第一大阪市大正區大正通十一丁目二九
第二大阪市大正區鶴町一丁目一八
現大阪盛道館長
竹内流柔術免許皆傳
劍道五段
東京警視廳柔道整復術第一回合格
柔道整復術師

院長　桑山青龍
桑山療院
出張所　新京浪速町二丁目六
城内三馬路平康里警察分駐所東隣

村々の私塾を特に奬勵助成
實務教育普及に專念する
文教部の教育方針

滿洲國に於る教育施設方針に就ては
一、産業國である事
一、都會、村落の人口分布狀態が平均されて居らざる事
一、交通の不便なる事
等の特殊事項を考慮し、教育機關設置に關してもこれを一定の形式の下に統一し、都會村落を問はず同一の形態下に置く事は全く無意味不可能なる事であり、且つ妥當を缺くのうらみあるので、同部に於ては徒らに高等教育機關の設置を急ぐよりは寧ろ專ら實務教育機關整備を目標とし、都會地は別とするも、數村落を一團とせる形式的な學校を設けず、各村落に於ては既存の私塾的機關を奬勵助成し、普通實務教育を施す事を主眼とし之が機關整備に邁進すべく体系を考究中である

阿南侍從武官 聖旨、令旨傳達

【天津十七日發國通】北支動亂の眞唯中に本日午前九時より海光寺に於て、阿南侍從武官は支那駐屯軍將士に對する聖旨、令旨の傳達式を行はせられた

音樂教科書歌詞懸賞募集
文教部の王道教育

文教部に於ては王道を指導原理とし、十俗民情に適切な新らしい教育方針の下に目下鋭意教科書の編纂中であるが、今回新教育方針に基く、內容の中小學の音樂教材を編纂する爲之が歌詞を廣く一般から懸賞募集をなすことに決した應募要項左の如し

懸賞募集歌詞 文教部學務司普通教育科

一、目的 小學校及中學校の音樂教材に充つ

二、種目

1內容 甲滿洲國建國を頌へたもの 乙滿洲國土の善美を讃揚したもの 丙國民意識を靈化し青年の志氣を鼓舞するもの 丁友邦の親仁、善隣の美意を感謝したるもの 戊篤學、愛校を勸めるもの

2程度 甲尋常（初級）一二學年程度に用ふるもの 乙同三四學年程度に用ふるもの 丙高等小學及中學程度の用ふるもの 丁各種學校に適用するもの 內容及程度は適宜

三、應募者制限なし

四、用語滿洲國語

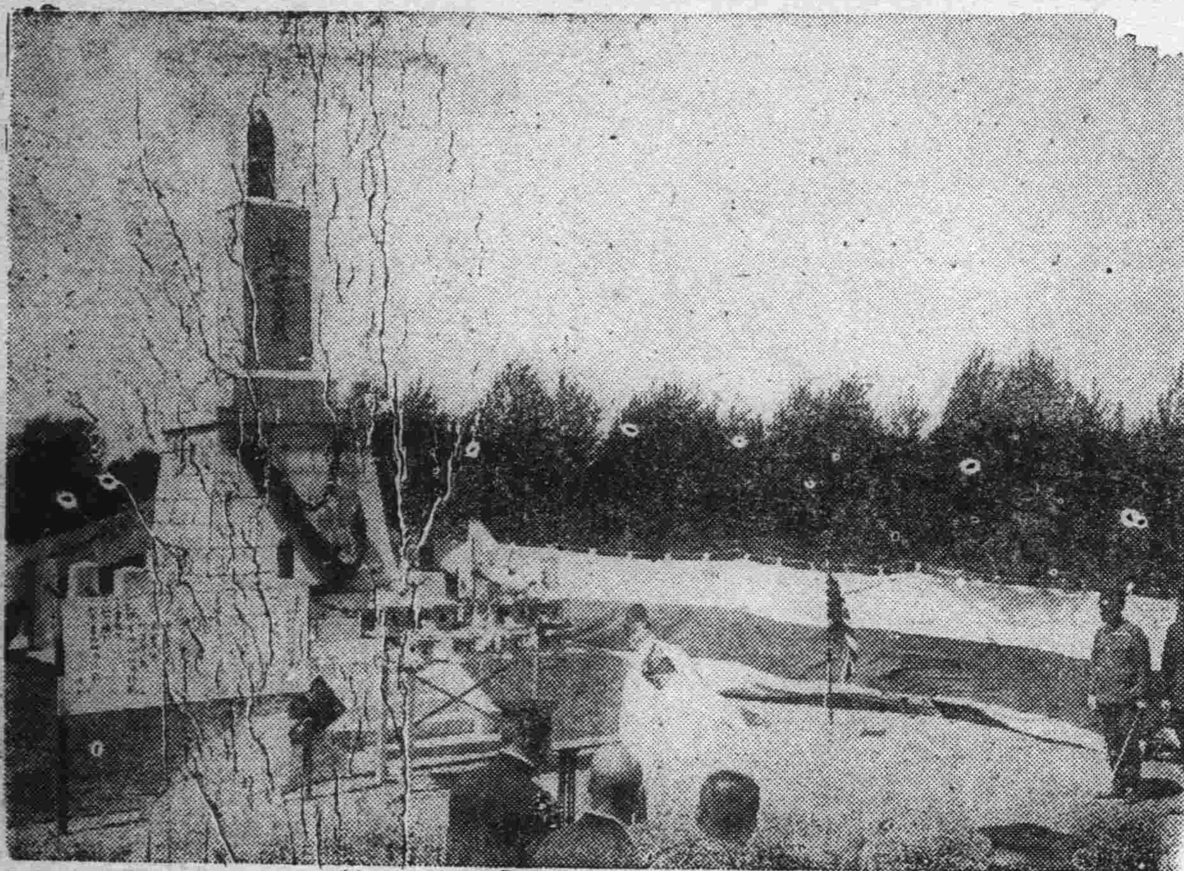
五、日限大同二年六月三十日

六、應募方法 甲創作に限る抄竊なる事發覺の場合は當選後と雖も取消 乙數人の合作及一人にて數篇提出するは差支なし 丙、原稿には題目のみを記入し著者の姓名住所とは別紙に誌して附すること 丁、原稿は文教部學務司普通教科歌詞募集係に提出すること

七、選擇法及等級 文教部より委員若干名を舉げて嚴正に審査す

等級 一等若干篇各褒狀及獎金五十元を支給す 選外佳作若干各褒狀及獎金二十元を與ふ

海友會記念碑移轉工事竣工



竣工移靈祭が擧行された

軍司令部廳舍新築の爲其敷地構內にあつた海友會記念碑は、西公園夕陽ケ岡に移轉工事を了したので十七日午前十一時より移轉

海軍側被告の刑務所內生活
森井所長は語る

【橫須賀電話】海軍側被告十六名は檢舉後全部橫須賀海軍刑務所に收容され昨年九月十八日以來橫須賀海軍々法會議の江崎檢察官、海軍省東京軍法『會議』の島田仁檜所豫審官が連日出張嚴重取調を行つて居たものである、收容中の被告等の起居狀況について森井橫須賀海軍刑務所長は語る

被告は全部普通人の取扱ひをしてゐる、海軍將校さは云へ身分は刑務所令に依つて停止されてゐるから刑務所の看守も被告に對して嚴重な點檢を行ひ絕對に刑務所令の下に服從させてゐる被告等は何れも待命中であるが刑事被告人たる關係から待命給の半額即ち本給の四分一を海軍當局から支給されてゐる、食事は普通の配食の外差入屋から取つてゐるものもある

『菓子』や果物の差入れも刑務所長の權限で許してゐる被告は各獨房で二枚の疊の上に毛布五六枚を給され寢具等も友人や家族等からの必要だけは差入れを許してゐる机さ椅子も各自の監房に置かれてある、起床はこの頃午前五時就寢は午後九時の規定通り、一週二回の入浴も許し運動は毎日午後の二回に四十分宛各自別々に看守が附添ひで行はしめてゐる、監房內では書見さ習字を稽古してゐるが書籍は精神修養や哲學等で同級生その他家族等が差入れた書物の外は彼等十六名で毎月百四五十圓の『書籍』を買求めてゐる被告の健康狀態は概して良好だが一名だけ目下病氣で橫須賀海軍病院に入院してゐる健康診斷は勿論毎月受けてゐる體量は一時增加したが昨今では多少減つてゐる、普通下士官兵の被告等は體量を非常に減ずるを例さするが五、一五事件の被告はそれ程減じて居らない、尙ほ刑務所には教誨師もゐるけれども被告等に對しては絕對に監房內に教誨師を入れないそれは審理上の支障さ他動的に心境の變化を來させる虞れがあるからだ

『家族』の面會は鄕里の遠い關係か少いが友人や海軍兵學校卒業當時のクラスメート等が時々訪ねて來る

再び過誤なきよう最善の努力が肝要
五、一五事件發表後海相語る

【東京十七日發國通】五、一五事件發表後海相は左の如く語る

青年將校が國家社會の現實に刺戟されかの如き結果を惹起したるは憐れむべきだ昂奮義憤に基てゐるが國法を犯し直接行動に出ずるが如きは許さず、況んや現役軍人が自己の意の欲する儘に行動したるは誠に恐懼措く能はず我々は聖旨を奉戴し事規の肅正を爲すべきは勿論日本國民として互ひに反省し再び過誤なからしむよう最善の努力を拂はねばならぬ

國法に假借なきも心事に涙なきを得ぬ
―荒木陸相語る―

【東京十七日發國通】五、一五事件發表後荒木陸軍大臣は語る

五、一五事件はお上に對し恐懼に堪えず、斯くならしめた我等の努力足りぬを慚愧する、國法違反故寸毫も假借なく處斷するは勿論だが、一方彼等の心事を偲ぶ時涙なきを得ぬ

發表文
司法省金庫に秘藏

【東京十七日發國通】五・一五事件發表文は司法省の金庫に秘めてあるが、解禁迄に漏洩するを惧れ、警官さ憲兵等が嚴重に見張つて居る、被告へ交附した豫審終結決定書の漏洩も惧れ辯護士の接見を禁じ戒めてゐる

軍人被告は
反亂罪と決定

【東京十七日發國通】本日司直關係當局では陸海軍側被告は反亂罪、常人被告は殺人幇助及び殺人未遂、爆發物取締違反幇助罪とする

十五名中
五名は不起訴

【東京十七日發國通】五、一五事件被告十五名の中五名は不起訴と十八日釋放さ決定、十名の起訴命令は明日發する筈である

二十日から大屯の娘々廟の祭り
新京から汽車賃往復卅五錢
初夏は郊外へ々々々

新京驛から列車に乘つて約三十分で着く南滿線大屯の阜豊山に在る娘々廟のお祭りは二十日から二十四日まで大々的に『擧行』される、滿鐵はその參詣者のため乘車賃の五割引を行ひ更に大屯驛から阜豊山麓（俗に大屯の石山さ云ふ）まで輕油動車を運轉して便宜をはかるさいふ力瘤の入れ方であるからその殷賑ぶりが想像される、娘々廟は阜豊山の中腹慶雲閣の境內に在つて、山さ云つても一つの丘陵で四顧びようぼうたる眺望絕佳、名も知れぬ野の草は色さり〴〵の花が咲き、晩咲きの李花を眺め行厨を開くのも逝く春を送る行樂にはふさはしいさころである、新京驛から孟家屯をすぎ『大屯』に至る二十一キロ、三十分で行ける全く市塵の及ばぬ聖域、しかも滿洲國政府がこの機會に王道政治を鼓吹しその徹底をはかるために協和會が協力して芝居にラジオに輕口にいろ〳〵の催しがあるその外に打上花火の中に引換券を入れ美事な種豚をくれて畜產獎勵の一助さするなど至れり盡せりの準備が着々さ整へられてゐる一方大屯の村民はまた各所に湯茶を準備して無料接待を行ふさうである先頃南嶺の娘々祭には人出が十何萬かあつたさうであるが大屯の娘々廟は相當古くからあつたのだがあまり世に知られなかつたのが今年から世に出る譯で近郊近在からの參詣は『勿論』新京方面からも夥しい行樂の人で賑ふこさ疑なしさいろ〳〵の商人は早くも驛から山腹にかけ店を張るのに大騷ぎをしてゐるさ

新京驛で往復乘車券を買ふさ山麓行きの輕油動車の料金をこめて三十五錢である

鐵道隊今夜凱旋

今夜（十八日）午後十時發の列車で鐵道○隊員百余名新京發內地へ凱旋します、皆さま送りませう

新京名物の惡道路を一掃
これで通行人の惱みを解消
近く夫々改修に決定

雨上りの泥濘に通行人を惱ます新京市內の惡道路を一掃したいさいふので新京滿鐵地方事務所ではそれ〴〵各『道路』の改修に近く着手することになつたが既に決定したものは千鳥町三丁目、永樂町三丁目、東一條、東二條、永樂町一丁目、老松町、入船町の各道路でいづれも碎石道路に改められ完全に舖装をやるべく材料關係その他を考慮して可及的至急に着手することになつてゐる、なほこれら以外の小道路でも改善を要するもの多々あるが、これらも併せて本年度中にぜひ仕上げるべく追加豫算さして本社に要求することになつてゐる、これで『附屬』地に於ける道路が一通り改修されるわけで一般市民の通行上に於ける非難も解消されることになるわけである

お達しを無視
藝酌婦ホール入り
警察も組合もこまりぬく
說教ある由

さきに新京料理店組合で組合抱へ藝妓、酌婦のダンスホールに出入禁止の決議をなした同決議は瀧組合長から各樓主に嚴達され、藝妓、酌婦にも充分なお達しがあつたにかゝはらず最近にいたり組合の決議を無視し盛んにダンスホールに出入し、ダンスをやつてゐる藝妓が見受けられてゐるこれがため早くも組合員中に不平がおき決議を廢棄せよさ叫ばれるにいたつた右に關し新京署保安係では十七日瀧組合長を召致し意見を決請したが組合側では一旦決議したものを今さなつてごつこするわけに行かない、飽迄嚴守してもらひたい又組合員で不平をこぼすよりか各樓主が抱へ藝妓を取締りダンスホールに出入させない樣に努めねばならないさの意見を有してゐる

大隈熊子刀自長逝

【東京十八日發國通】故大隈重信侯長女信常侯母堂の熊子刀自は舊臘來肺膜炎で早稻田の別邸で療養中數日來病勢革まり十七日北白川宮御使、若槻民政黨總裁、永井拓相等の見舞をうけたが十七日午後十一時三十五分遂に逝去した享年七十一歲

金光教大祭

曙町金光教では左記により大祭を執行するさ

五月十八日午後二時
大祭執行
式次
先着席（奏樂）
次修祓
次捲簾
次開扉（奏樂）
次獻饌（同）
次奉幣行事
次齋主祝詞及び玉串
次各總代玉串
次吉備舞奉納（金剛石）
次閉扉（奏樂）
次退下（同）

因に十七日夜八時、十八日祭典後の兩度沿線教會長の

次回新小說豫告

長篇小說

珠玉を碎く

吉井勇氏作
高根秀浩氏畫

本篇は震災後、一作の筆も染めず悠々自適の生活を送りつゝある吉井勇氏が暫らくぶりに世に送る長篇であります。新聞小說としての通俗性と、高級藝術品としての渾然さを特色とする氏の藝術境は、本篇に於て更に一步を進め、讀者をして强烈な香氣に醉はしめるでありませう。挿繪の高根秀浩畫伯は、最近その溌出ぶりの華かさに於て注目されつゝある新人であり、その文學的雰圍氣と情緒の繪畫的表現は他の追從を許さぬところ、兩者のよきコンビネーションだけでも、如何に本篇が傑出してゐるかゞおわかりでせう。目下連載中の新小說の完結を俟つて連載と決定しました。何卒第一回より御愛讀をお願ひ致します。

作者の言葉

久しぶりに長篇を執筆するに當つて今更乍ら氣が付いた事ですが、背景となるべき現代の世相の眩しさです。しかし近頃の新戰の嚮くものみたいにケバ〳〵しく華かにはとても行きません。が、せめてしみ〴〵と或人の人の胸に、何かしみ入るやうなものが書ければいゝと、目下それのみを念じてゐます。で、向かうとしてゐるのは、この組織と辛苦の生活の中にあつて、常に微笑を忘れず、寂しく胸に只一人の人を抱いて行く一女性と、運命に抗し、魂を惡魔に賣つた二人の女性との足跡の記錄です。それを以ていさゝか私としては男女間の問題の批判を試み、如何に生くべきか、如何に戀愛すべきかを暗示し得れば幸ひだと思つて居ます。ひたすら御愛讀の程を願つておきます。

勝二武勇傳

藝者が醉つぱらつて硝子障子を叩きやぶりおまけに硝子の破片をボリ〳〵喰つたさいふグロ味たつぷりな話、ハテこの誰だらうさ探査に着手したさころが、ある日床屋でミレの照葉が左の手に繃帶してゐるのを發見した、

×

女てものはたいてい左きゝだ子供の時石を投げるにしても左の手で投げるのが多い、大きくなつても七分通りは左きゝだあの手で硝子障子をやつたのだなさ更に探査の步を進めたさころがちがつてゐた素人探偵すつかり失敗、それにしても照葉の繃帶はごうした原因かそれは後廻し

×

如是我聞、千島の勝二、あゝくやしい奉天以來操をたててゐるあたし、それにあの人はツてなわけで、罪の無い硝子障子をグワーンさ一擊、非情の硝子障子です、まア待てよあれにやいろ〳〵わけがあるんださ勝二の手を押へて宥めやうさしません

×

そこでグワチャンガラ〳〵ツさ物凄い音さサツさほどばしる血汐、一座のお客さんの方が青くなつちやつたが勝二は泰然自若、なんだアねへ騷ぎなさんなみつさもない、薄情な男はこの通りざまア見やがれツさ、落ちた硝子のカケラを拾つてはボリ〳〵噛み碎くその口、凄かつたさうな

ラジオ欄

十九日（金曜日）
新京 奉天四、〇〇 レコード 銀行金銀相場 商業通信社
新京四、三〇 演藝
奉天五、〇〇 講演 東亞民族ノ自覺ヲ喚起ス 陳明遠
新京五、三〇 ニュース（滿洲語）
東京六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
新京六、三〇 演藝又ハ講演
新京七、〇〇 ニュース（英語）
新京七、一〇 ニュース（露西亞語）
新京七、二〇 ニュース（朝鮮語）
新京七、三〇 ニュース 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
新京八、〇〇 演藝
東京八、三〇 時報
東京八、三一 ニュース 東京中央放送局編輯

滿電ラヂオ專屬店 內藤商會 祝町三ノ一七 電話三九一七

けふの銀相場

鈔票	金票	一〇五圓一〇
大洋	金票	九八圓五〇
國幣	金票	九八圓六〇
大洋	沙票	九三圓七〇

謹告
右今般解雇仕り候間此段謹告候也
店員 高田清志
自稱 大連市信濃町日輪公司內 新京日升棧止宿 尾崎保吉
右者弊店ト取引アル如ク思惟セラルル何モ有之候へ共弊店ト何等關係無之候間茲ニ謹告仕り候
昭和八年五月十七日
新京日本橋通り二二番地 大本商行

ホホの落ちサウな美味
スッポン水炊
鰻蒲燒天ぷら
野遊の お辨當 仕出物は 材料吟味內容豐富至極 安値
御會食にはノンビリさしたお座敷を御利用くださいませ
食道樂 とゞろき
新京朝日通り日本橋角 電話三九三六番

東式
開店
タンス
月賦販賣も致します
三笠町二丁目河久裏
原田商店

吉野町露店開始
一、期間 自六月一日至九月卅一日迄
一、申込期日 五月三十日迄
一、申込場所 共榮會事務所（乾寫眞館）
御希望の方は至急御申込を願ひます
吉野町 共榮會

「新京一の機械工場開業」
各種機械設置並に設計圖面
營業種目
發動機 ウオシントポンプ
電氣時計 修繕
諸機械 マシンツール 請負
鐵工 暖房 建築金物請負 自動車修繕
長春鐵工所
新京東三條通卒番地 日本領事館前

齒科一般 口腔外科
田中醫院
吉野町一丁目十四番地（電話三三四五番）
京城齒科醫學士 田中勳
診療時間 自午前九時 至午後六時（日曜祭日午後休診）

森永ミルクキャラメル
森永ベルトライン 市場內 峰長春堂支店

幕末異聞
愛慾火箭（あいよくひや）
上方篇　作　瀧川駿　畫　村瀬洗舟

（十八）

〔[illegible]三〕

與四郎を[illegible]んだ[illegible]は、た[illegible]にしてゐるばかりだつた。

[illegible]も縮み[illegible]も用はない。與四郎が迫ると[illegible]く、そして逃れないやうに[illegible]でゐる。

御[illegible]は一つ[illegible]二つ[illegible]えして今では[illegible]を[illegible]く[illegible]であつた。

一刻、二刻と時の經つのに隨つて、與四郎の[illegible]は增して來た。

「[illegible]すか？」

「[illegible]出したんやろ」

「さうやおへん、何でも日本一の大盜人の捕物やさうで」

[illegible]であつた。

近[illegible]は[illegible]戸を開けて祭禮[illegible]も觀るやうな騷ぎ。

何處かで一番鷄が啼いた。も[illegible]聞[illegible]い。

[illegible]は[illegible]、着物は裂け、眼は血走つ、返り血を浴びた與四郎は、眞赤に染つて血刀を提げて仁王のやうに立つてゐた。

疲れと[illegible]に咽喉が渇いで、火を吹くかと思ふ程、呼吸は熱かつた。

「あつ！」

と、ひゆうと唸つて飛んで來た[illegible]與四郎に命中つた。

與四郎はこんな叫び聲をあげて刀を取り落すと兩手で眼を押へた。

「それ！」

この機會を待つてゐた、岡ツ引連はうわアと襲ひかゝつて、與四郎の上へ折り重なつた。

與四郎は金剛の力を揮つたが相手は大勢だ。苦もなく羽掻締めに縛し上げられてしまつた。

與四郎の顏は、染つた血潮に砂がかゝつて、土蜘蛛のやうになつてゐた。

與四郎の額に強か當つたものは一箇の鷄卵だつた。がその鷄卵こそ普通の鷄卵と違つて、中味を吮つた跡へ、砂と鐵と唐辛子に鷄卵の殼を小さく毀して摺り交ぜたものが詰込んであつたのだ。

即ち目潰しの礫であつた。

縛し上げられた今の與四郎は目を見開く事すら出來ない。たゞ齒嚙みするばかり。

「それ、駕籠を持つて參れ！」

斯う下役の者に命じながら、目明しを押し分けて、現はれたのは、町奉行の小出大和守だつた。

舁つぎ出された軍鷄籠。それへ與四郎の身體を押し込んだ。

「立て！」

下知のもとに、小者は駕籠の前後を擔つた。

駕籠には、何十人かの目明しが附き添つて、まるで大名の行列のやうに、肅々と闇の街を歩いた。

駕籠は、堀川筋を傳つてゐたが、三條通りへ出ると、眞直に六角の牢屋へと進んだ。

疲勞の爲に、駕籠の中で與四郎は正氣が無かつた。夢か現か、たゞ混沌としてゐた。

兩側にまるで馬小舎の様に、六疊位の丸太格子の入つた部屋に二人、或は三人宛ほうり込まれてゐた。

その中を與四郎の駕籠は、靜かに〳〵進んで行つた。

與四郎に宛がはれた部屋は、一番奥のはづれの獨房だつた。

「そーれ」

まるで品物扱ひに、潜りの格子から投げ込まれた。

役人は去つて行つた。——一刻二刻と時が經つに隨つて與四郎の意識は明確して行つた。

空腹、まるで與四郎の腹は空洞だつた。

「おい水を呉れ！」

まづ渇を醫す爲に、與四郎は水を求めた。

「お——い」

斯う答へた男は、六十がらみの老牢番。薄暗い廊下を傳はつて土器に水を入れて運んで來た。

與四郎は、火の出るやうな咽喉の渇きに土器の水を貪るやうに飲み干した。

五月十九日　金曜　乙酉　佛滅　定　婁宿

● 一白の人　安逸の地を得て是より佳境に至らんとす吉　巳さ庚さ丑が吉
● 二黑の人　多幸なる日也　開店其他普請造作婚談大吉　乙さ辛さ丑が吉
● 三碧の人　慢心を去り著實なれば爲事間違なきに至る　申さ壬さ癸が吉
● 四綠の人　奔命に疲れて盡智に窮せんとする多難の日　申さ庚さ壬が吉
● 五黃の人　短慮に事を企て蹉跌を生ずる事あり自重吉　庚さ辛さ亥が吉
● 六白の人　取引關係には注意を要するも他は差支なし　乙さ丙さ戌が吉
● 七赤の人　利潤は薄くさも氣に病まず手堅くするが吉　丙さ丁さ寅が吉
● 八白の人　入る事多く出づる事少なくして財蓄むべし　甲さ辛さ戌が吉
● 九紫の人　訴訟爭論愼むべき日人の爲迷惑する事あり　乙さ丁さ亥が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×印ハ一等船客御斷り門司不寄港
（午前十時大連出帆）

×たこま丸　五月十九日
香港丸　五月二十日
うすりい丸　五月廿二日
ばいかる丸　五月廿四日
×しあとる丸　五月廿五日
ふえのす丸　五月廿六日
うらる丸　五月廿八日
はるびん丸　五月三十日

● 切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃割引通用期間三ケ月）

● 專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社　大連支店　電話四、三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二三二六番

寫眞
お寫眞のシーズンになりましたら
所は中央通西公園の前
ヤマモト

御旅行者及一般の御便宜を計る爲左記取扱を致しますから御利用願ひます
一、新京驛發送手荷物、小荷物の蒐集及代理託送
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
右一切迅速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話か葉書にて左記に申込み下さい
中央通十一番地
谷口商會
（通濟運輸公司）
電話三二四一番
尙申込は小荷物扱所（社内二二四番）にされても宜敷うムいます

お待ちかねの
うなぎ
かば燒どんぶり
出前迅速に致します
藪虎
電三四四五

材木
在庫豐富
床柱落掛類各種
新京梅ヶ枝町三丁目（一條通詰）
大山木廠
同木工部
電話三一一番

ラヂオ
高級
テレビアン受信機
五球式
七球式
八球式
型錄進呈
和登商行ラヂオ部
新京中央通一〇

御宴會は
是非弊店へ
座敷はきれいで料理は江戸前感じのいゝ藝妓のサービスは滿點
會席御料理
東京
嬉野支店
三笠町三丁目
電話三八三〇

御料理
東明
吉野町二丁目五
電話二一二三七番

會席
御料理
麥廼家
富士町一丁目
電話二五〇七番

唸を生じて大評判
不況を外に大發展
鰻かば燒とどんぶり
御壽し仕出し
食道樂
青葉
三笠町二丁目
電話二九四二番

會席
御料理
曾我廼家
三笠町二丁目
電話二五八八番

御待チシテ居マス
水炊。スキ燒。鍋物類
明なかホールさ刷新なるサービス陣が
カフエー
ミカサ
電話二四六八番

ミナミ
サンニ
ゴキ
ヒー
料理
小
おでん
と
極樂
三笠町
東三條通
キャピタル

最上白米
特等醬油
清酒、木炭
今田商店
電話三九三三番

カフヱー
滿洲
東三條通り
賓宴樓階下角

歡樂の王宮
カフヱー
朝日
祝町二
電話二六二七番

御料理
泰東
新しい部屋で藝妓一同御待ち申上げてゐます、是非一度御出向きを願上ます
富士町二丁目
電話二四七四番

御料理
會席
大吉
水崎よし
電話三一五九番

美酒佳肴
會席
御料理
長春座裏
やよい
電話三四九〇番

美人揃ひの
美人樓
キャピタルダンスホール前
富士町二丁目二十六

機械
煖房
衛生
設計
工事請負業
北田工務所
何ンデモ親切ニ急イデ致シマス
新京敷島通り一番地
取次・電話二〇三五番

富士タクシーが
朝日タクシーと
改名致しました
倍舊の御引立を願ひます
御用の節は是非
電話三一九五番へ！
朝日自動車公司
新京富士町三丁目

開山崎齒科院
中央通西公園前
診療
毎日　午前八時—午後八時
日曜　午後一時—五時

開業廣告
タクシー
トラック
との御用は是非電話三七六八番へ
東興汽車行
大經路民政部橫

キリンビール
キリンスタウト
代理店
新京日本橋通七一
海陸物產
和洋酒罐詰
燐寸雜貨
卸問屋
㋫
福田商店
電話四二九八〇番
本店　安東縣
支店　奉天、新義州

南滿洲鐵道（時刻表）
大連開・周水子・金州・普蘭店・瓦房店・熊岳城・蓋平・大石橋・海城・湯崗子・鞍山・遼陽・蘇家屯・奉天到・奉天開・鐵嶺・開原・昌圖・四平街・公主嶺・范家屯・長春到・長春開・范家屯・公主嶺・四平街・昌圖・開原・鐵嶺・奉天到・奉天開・蘇家屯・遼陽・鞍山・湯崗子・海城・大石橋・蓋平・熊岳城・瓦房店・普蘭店・金州・周水子・大連到

新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社

新京日本橋通一九 奉天春日町 中谷時計店 貴金屬寶石カメラ

滿鐵の土地を初めて競爭入札に
新社宅周圍凡そ一萬五千坪
愈よ近く拂下げ

目下の住宅難と將來の發展を豫想して土地の拂下を希望する者は依然多く滿鐵地方事務所土地係でも =應接= に閑ない情況である、今のところ滿鐵として差しづめ拂下に決定してゐるものは目下建築中の新社宅周圍に當る長嶺街道に面した五十筆とそれに直角に交つてゐる八十筆、合計百三十筆に上る勘定である同地附近一帶はもと〳〵滿鐵の新買收地で總面積二十三萬坪にも上る廣大なものだが、新社宅四萬坪、陸軍官舍三萬坪をはじめ舊第四聯隊兵舍擴張、新京中學寄宿舍などの用地およびその二割方は新設道路に使用されることとなり、殘余は窪地多く一般に =使用= に堪へられない箇所も尠くないので、これらを除いて一般に拂下げられるものは結局約一萬五千坪ばかりである、而してその時機については目下のところ國都建設局と同時期になすべき豫定の下に目下頻りに準備中だが、遲るれば國都建設局のそれに引續いて行はれるべく同地一帶は滿鐵新社宅、陸軍官舍、それに今度の拂下地を加へれば =悠に= 一千戸にも余る一大住宅區が形成され、中に幹線路二本を敷いて商店街まで現出される極めて有望の地であるので例によつて希望者は殺到するものと見られてゐる

善隣關係と詮衡難のため
今後貸下げ廢止か

なほ右拂下については國道建設がいよ〳〵近く一般入札に附することになつたので、善隣滿洲國との均衡上從來の貸下を廢して一般 =競爭= 入札になすべき意嚮で滿鐵がかゝる方法に出るのは全く最初のことであり、その理由とするところは前記國都建設事業との關係もあるが一方、ちかごろ土地要望の向きが多く從來の貸下では詮衡が極めて難しくなつたゝめでもある

小林少將歸任
『海軍部は當分のまゝ』と　けさ新京に着く

〔大連十八日發國通〕駐滿海軍部司令官小林省三郎少將は六日新京出發、東上中であつたが、十八日入港の香港丸で歸滿した、氏は船中で語る

駐滿海軍部が設置されて以來最初の上京で別に特別な用件があつた譯ではない、海軍部陣容も整つたし報告旁々本省に出頭した譯だ、海軍部は當分現狀のまゝ進むであらう

尚ほ同少將は十八日午後四時半歸任の豫定である

衛生施設の改善いろ〳〵
新京附屬地　衛生委員會で決議

本年度第一回新京附屬地衛生委員會は十七日午後一時から地方事務所に於て、委員長荒木所長をはじめ委員高山警察署長以下十二名並に新京衛戍病院より加藤一等軍醫正、高橋三等軍醫正、民政部衛生司保健課長符〔?〕閣、市政公署衛生課丁開誠、首都警察署衛生科油井弟熊氏等出席の上、本年度衛生施設に關し協議を行つたが、主なる決議事項左の如し

一、當市街の居住者中には、私設下水塵埃箱、便所の設備の無いもの、又は便所の不完全並びに一個の便壺を二戸で共用するもの及道路側より糞吸出をなすもの等多數あり、公衆衛生上誠に寒心に堪えざるにつき、速に各設備の完全を圖ること

二、從來伊通河の天然氷を冷却用氷として使用しつゝあるも周圍の關係上不潔にして當地の消化器系傳染病の多發するは、これに基くものと認められる點多きにつき原則として、速に製氷會社の設立實現を期すると共に、それまでの處なるべく上流にて採氷すること

三、消化器系傳染病の多發に鑑み、防疫の一端として、夏期間毎月一回全市に對し清潔デーを昨年同樣實施し衛生思想を普及すると共に市街の清潔保持に努むること

尚ほ五月、九月は關東廳の定期大掃除あるにより六、七、八月は毎月十五日全市に清潔デーを施行す

四、空地及び道路に各戸の廢品並に建築用殘材料等多數堆積あり、又道路使用許可以上の面積を使用し亂雜に諸種の材料を置きあるもの多數あり、又廣告用看板の使用濟みのものをその儘各所に放棄しあり、これ等諸點に衛生上若くは市街美交通上等よりして誠に遺憾に堪えざるを以て當局は之が嚴重取締をなすこと

五、當市に出入する營業用の客馬車、貨物運搬用荷馬車二千有餘臺あり、之等馬匹が道路に投糞するは保健防疫、市街美等よりして寒心に堪えざるにつき各馬匹に馬糞受け（馬の尻に袋をつける）を附着せしむる（右諸件は滿場一致賛成決議されたがこれが實施については尚滿洲國保安課とも詳細打合せの上不日決定する）

六、汚物運搬作業は從來荷馬車作業の處今年度より自動車作業に變更し運搬の迅速を期す

七、頭道溝附近は冬季期間投棄せられた塵芥その他汚物の爲、流れ甚しく不潔となり、夏季に至つて惡臭を放つにより、從業者の取締を一層嚴重にすると共に豫算範圍内に於て徹底的清掃に努め、逐次懸案の暗渠工事を實施すること

八、本年は猩紅熱の流行例年に比し著しく多數發生を見るに至り、この儘推移するに於ては由々しい問題となるにつき、可及的に患者の早期發見に努むると共に徹底的に豫防注射を實施すること

鮮農の努力で萬寶山農場更生
四千石の收穫豫想

幾多の悲劇を有する萬寶山農場も今や當時の避難鮮農の自力更生の熱誠に既に戸數は六十餘戸に達し、種も數日前六十五石を新京朝鮮人金融組合の援助の下に萬寶山で蒔かれたが、今年の收穫高は約四千石を豫想されて居る、而して高粱繁茂期に於ける彼等鮮農の自營力を強力ならしむべき必要あり、種々當局に陳情して居るが、目下當局は考慮中であり、斯くして萬寶山の水田は白衣同胞に依つて日毎復活してゐる

日本製鐵參加勸請協議會

〔東京十八日發國通〕民間製鋼九社に對し日本製鐵參加勸請の商工省主催鐵鋼協議會は十七日午後工業倶樂部に開催されたが富士製鋼が率先參加を表明したが、日本鋼管は不參加を表明し注目をひいて居る

ジョンソン氏夫妻近く來滿
穩健公正な新聞人

時事新報ジユネーヴ特派員として聯盟に於て活躍したアルビン・イー・ジョンソン氏夫妻は新興滿洲國の認識を新たにすべく =來滿= することとなつた、氏は世界大戰當時米國ユーナイテッド・プレス社に入社して歐洲特派員となり、後紐育ウオールドに入社、一九二〇年國際聯盟創立と共に同紙聯盟特派員として活動し、一九二七年日英米三國軍縮會議當時時事新報に入社各國各紙のジユネーヴ特派員を以つて組織されてゐる國際記者倶樂部幹事さし且つ日本の聯盟脫退當時穩健 =公正= なる論說を以つて獨り我國の爲萬丈の氣を吐いたものとして、日本國民に親しまれてゐる來滿日程は左の通り

五月二十二日奉天到着（三泊）二十五日新京（三泊）二十八日ハルビン（三泊）三十一日奉天（一泊）六月一日大連（二泊）六月三日神戸へ向け出帆

帝都六萬の自動車運轉手
いよ〳〵團結成る

〔東京十八日發國通〕帝都の自動車洪水に伴ひ現に警視廳管内だけでも運轉手免許證を下附されてゐる者六萬に及んでゐるが、近頃の不況のため運轉手間の競爭は益々激甚となり、交通事故は頻發する等憂ふべき狀態にあるので今度の日本更生會理事長等が創立委員となり東京自動車組合なるものを設立して部下六萬の運轉手の生活擁護の爲め諸種の事業を行ふこととなつた、即ち皇道日本主義に依る精神修養、人事法律相談、失業救濟機關、事故に依る負傷者の施療等に就いて適當の施設を設ける外非常時國防參加の主旨に依つて日頃陸軍自動車隊及び航空隊に就いて實施訓練をうけ國家有事の際に備へ團結して斯業の發展を圖ることゝなつた

衆議院慰問團
滿洲國首腦と會見

衆議院慰問團十八名は十八日午前九時新京衛戍病院に傷病兵を見舞つて種々慰問するところあり、同十時半自動車を連ねて執政府に至り、鄭總理を始め各部總長の出迎へを受けて歡談し、次で執政と會見して滿洲國及び執政に對して熊谷團長より日本國民の辭と祝意を述べ、執政より團員一同のため慰勞するところがあつて同十一時半執政府を出門大和ホテルに歸還した、尚午後零時半より滿洲國政府要人の招待午餐會に出席する筈である

記者團とも會見

大和ホテルに於ける鄭國務總理を始め各部總長、參議等要人の招宴に臨んで熊谷代議士他十七名は十八日午後三時同ホテルに在京新聞記者團を招待し、熊谷團長起つて事變以後の新聞通信記者の活動振を賞讚して慰勞の辭を述べた後各團員と記者團との間に隔意無き意見の交換が行はれ、四時半終了した、尚團員一行は六時半より同官邸に於ける武藤軍司令官の招待に列席の筈

蛟河柳樹間運轉

かねて不通となつてゐた吉長吉敦線は蛟河柳樹間二百四十一キロの地點の修理完成され、十七日午前九時五十分より從前通り運轉する事となつた

服部部隊の魁け早くも石門鎭占領
その主力は尚遵化に

〔山海關十八日發國通至急報〕十七日午後十一時服部々隊は石門鎭を占領せり其主力は今尚遵化に在り

住民も彼等の豹變振りに呆れ返り、軍紀整然たる日本軍到るや初めて心から水を出し茶を勸めて歡迎してゐる

萬福麟二十九師の二ケ團々子山で全滅

〔天津十八日發國通〕萬福麟の二十九師六百八十三及び六百八十五の兩團は十五日夜團子山の激戰にて、全滅し營長二名も重傷を負ひ、北平に後送同仁醫院に入院して居る

錦州飛行場失火
飛行機に損害なし

軍司令部發表＝十八日午前十時五十分錦州飛行場第二格納庫修理中工事用ランプより引火し、同格納庫を燒失し、午前十一時卅分鎭火せり飛行機は全部前線出動中にして無事なるも目下其他の損害調査中

馬鹿々々しい支那の空宣傳
住民も呆れ返へる

〔王家庄十六日國通宮崎、大橋特派員發〕今回の戰鬪にて支那軍中には軍委員會政訓所華北宣傳隊なるものあり、旺んに陣中號外を發行して虛構の宣傳を行ひ、一方各所に傳單を貼廻し、無智の人民を惑はしてゐるが、其一例を舉ければ王家庄附近支那軍陣地には、「友軍速報」として左の如き馬鹿馬鹿しい虛構の傳單が撒布されてあつた

去る八日遷安東方約四里の地點に於て遷安を追はれた日本軍敗殘兵約百名は逆走東北方に向ひつゝあつたが偶々支那軍彈藥補充行李に出遭ひ交戰三時間に及んだが遂に逃走した。此戰鬪は支那軍監視兵僅かに五名で然も馬夫は敵襲に驚いて四散し、五名の兵は死すとも其場を離れず勇士遂に大捷す

と報じてゐる、尚一週間程前には當地に於て彼等に依る排日抗日宣傳會が開かれ、お祭り騷ぎが演ぜられたが、敗報到るや掠奪して逸早く逃走した

天津英租界避難民の洪水
貸間は平常の十倍

〔天津十八日發國通〕連日の戰線よりの敗報と市内に頻發する爆彈に怖へた支那街の住民は、雪崩の如く英佛租界に避難して來るので英佛租界は避難者の洪水で今迄一間五六元の家が一ケ月五十元、而も三ケ月分前拂を要するので、支那人等も外人が平素は支那に同情あるかの如くでありながら、愈々の際は、苛酷なる手段に出でるのを憤慨するがしかし戸外にも眠られず、不承不承に治りつゝある

電氣通信會社設立委員任命
國務院議の人事決定

十五日の國務院會議に於て次の人事任命を決定した

盧元善　任黑龍江省理事官（簡任二等）
任黑龍江省公署實業廳長　徐斌
任國道局技正（簡任二等）
任國道局第二技術處長　原口忠次郎
任國道局技正（簡任一等）
任新京國道建設處長
任新京特別市政公署理事官　樋口勇九郎
（簡任一等）
任新京特別市政公署總務處長兼工務處長
交通部理事官　森田成之
任交通部鐵道司長
任交通部總務司長　迫喜平次
任國務院人事處長兼理事官　皆川豐治

なほ十七日附次の如く人事任命の發令があつた

財政部事務官　張承元
任稅務監督署長、派熱河稅務監督署長　鄭禹
國務總理秘書
總務廳長　阪谷希一
國務院總務廳理事官　松田令輔
國務院法制局長官　三宅福馬
國都建設局長　阮振鐸
外交部理事官　朱文正
軍政部次長　王靜修
財政部次長　孫其昌
財政部理事官　星野直樹
實業部理事官　孫徵
交通部理事官　森田成之
交通部理事官　藤原保明
奉天電政管理局副局長　白鶴澤
ハルビン電政管理局副局長　范培忠
任滿日電氣合辦通信會社公司設立委員
（各通）

滿蒙移民に就て（一）

第一章序論

△日本農業危機の解決を滿洲に發見せよ

滿蒙農業移民は日滿經濟ブロックの内面的基礎として、その絶對的要件である、大地に立脚する農民の手に開拓される根底ある實力此の實力によつてこそ眞の日滿經濟ブロックの確立されるものなることは、理論上明白なるのみならず、所謂特殊權益の外交辭令的確保の何たるかを味へる在滿同胞の苦き體驗が既に既に知り盡して居る所なのだ

耕馬驅る漢人農と、トラクターの把手握る邦人集團農とそれに水田をすく鮮農との三大農業民族の間に差し延ばされる力強き握手、こゝにこそ眞の民族協和の實のり豐かなる樂土が建設されるのである

熱河平定を轉機として、滿洲國は産業の積極的開發に全主力を注ぐ可き産業建設時代を迎へたのであるが、この建設への熱意と苦惱は、遂に因循姑息な内地中央政治經濟界に異常な影響を及ぼせるものの如く、過般上京の小磯參謀長と、拓務省其他關係方面との間に滿洲産業開發の大綱が決定された樣に傳へられて居る

然し問題は如何にして投資を誘導するかに在る、滿洲愛國投資會社創立計畫中の貴志喜四郎氏の云ふ如く「滿洲の經濟工作は元々營利のみを目的とする事業ではないのである、建國に際し軍部が拂つた犧牲の事を考へれば、經濟界の者もその點の覺悟があつて然る可きであら」この言葉の如かる可き筈なるに、實は我國資本主義財政經濟機構の化石化と、それによる活潑なる國民資本の動員阻害といふ悲しむ可き現狀を出現して居るのである

茲に於て資本誘導のため小額資本蒐集による中間投資機關とその計畫實行が絶對的に必要となつて來た、斯くて滿蒙開拓のパイオニーア農業移民問題に就て移民助成現地指導統制の中間經營機關たる

（一）滿蒙農地開拓會社案
（二）滿蒙農地金融會社案

の二案が不可分の一體として傳へられつゝあり、更にこれと併行して三千の自衛移民で採金を經營する滿洲採金會社創設も具體的に進行其の第一着手として、經費五十萬圓の財團法人による産金調査機關が設けられ、先驅北滿採金隊は鐵嶺其他に在つて年余の實習を積んで居たが、愈々去る九日鐵嶺に盛んな門出の式を舉け、岡本榮氏等を夫々班長に三班に分れ砂金の寶庫を開くべく十日前進根據地たる佳木斯への壯途に就いたのであるが、小磯參謀長歸任で移民問題愈々具体化、特務部、拓務部、總督府等の移民關係當局は移民適地調査に來滿中の拓務省の中村技師、總督府の石塚技師等關係技術官を交へて七日移民會議を開催過般協議決定を見た對滿移民大綱を基礎として具體的方策を樹立するため

一、各關係機關團体、新統制機關設置問題
二、内鮮移民分布問題
三、移民と土着民の融和及移民地防備問題
四、滿洲農地開拓會社設立の基礎的調査

を議題に重要協議を遂げるところあつた

一方拓務省に於ても管理局企畫課を中心として、農地會社の具体化に努力しつつあり自由家族移民の大量移出計畫を立て、渡滿後の集團的訓練に關しては、關東軍の監督下にハルビン、奉天、公主嶺、熊岳城の四ケ所に訓練所を新設するに決定、各府縣に積極的宣傳を開始したと

安東競馬終る

〔安東發〕安東競馬第六日の最終日は雨天順延で十六日行はれ、最後の事とて非常な人出で殊に優勝競走が、新抽新古呼、所屬、各抽と四回續いてあり此の中新古呼優勝競走は安兵衛、平九郎の二頭がスタートより大接戰の結果、遂に安東競馬會二千四百米三分四秒三の從來安兵衛が保持して居たレコードを破り平九郎三分三秒一の新レコードで優勝し完全にファンの手に汗を握らした、第六日の賣上馬券が一萬三千二十圓、福券四千三百四十九圓、入場人員五千七百人であつた六日間總賣上七萬一千七百五十七圓福券二萬四千四百四圓、大日總賣上としては概して成績不良で之は雨天と花見に影響された結果であらう

四平街便り

匪賊の跳梁する高粱繁茂期も間近に接近したため滿鐵線揚木林驛では十六日午前十一時より同地社員倶樂部に於て日本側新京鐵道事務所長代理郭家店守備隊赤木中尉、四平街守備隊安藤中尉、同憲兵分遣隊樋口伍長、同保線區保安區長同警察署谷口警部補、揚木林派出所員、滿洲側よりは附近十二ケ村長出席鐵路警備に關する會議を開催午後二時三十分終了した

天氣と氣

十八日の氣温最高二十度九、最低十度四
十九日天氣北西の風曇り

廿日より開業
診療時間 自午前八時 至午後六時（日曜祭日午前中）
眼科専門
知識醫院
假診療所三笠町四丁目廿六
滿洲醫科大學眼科出身 前山東省同仁會濟南醫院眼科醫長
醫學士 知識吉彥

レディーメード
洋服一切新荷着
背廣、詰襟服
學生服、レンコート
雨合羽
新京日本橋通 平本洋行 電話二一五八番

齒科一般
口腔外科
日本大學齒科醫學士 小島鉎郎
小島醫院
東四條通り八番地

五、一五事件の民間側豫審決定書

爆發物の取締罰則違反と殺人及同未遂で

〔東京十八日發國通〕五、一五事件民間側豫審決定書左の如し

橘孝三郎　後藤圀彦　林正三　矢吹正吾　横須賀喜久雄　塙五百枝　大貫明幹　小室力也　春田信義　奥田秀夫　池松武志　高根澤與一　杉浦孝　堀川秀雄　照沼操　黒澤金吉　川崎長光　大川周明　頭山秀三　本間憲一郎

右被告人に對する爆發物取締罰則違反、殺人及殺人未遂被告事件に就き併合審理の上終決決定すること左の如し

主文

被告人橘孝三郎、後藤圀彦、林正三、矢吹正吾、横須賀喜久雄、塙五百枝、大貫明幹、小室力也、春田信義、奥田秀夫、池松武志に對する爆發物取締罰則違反、殺人及殺人未遂、被告人高根澤與一に對する同取締罰則違反及殺人、被告人堀川秀雄、照沼操、黒澤金吉に對する同取締罰則違反及殺人教唆、被告人川崎長光に對する同取締罰則違反及殺人未遂、被告人大川周明、頭山秀三、本間憲一郎に對する同取締罰則違反及殺人幇助被告事件を夫々東京地方裁判所の公判に付す（理由省略）

第一回公判は九月上旬開廷　軍人側は七、八月に

〔東京十八日發國通〕五、一五事件民間被告第一公判は九月上旬で、犯罪内容は血盟團事件同樣故同事件係の酒卷裁判長と木内檢事が審理の筈、陸軍被告は横須賀軍法會議で公判開廷し、第一回は順調に行けば大演習後の七月下旬か八月上旬で、裁判官は大角海相の任命する判士五名で、辯護士は各被告に二名を限度として添へ得るが、辯護希望者殺倒してゐる、陸軍側は順調に行けば八月下旬第一回の公判をなし裁判官は第一師團長の任命する判士五名で構成される

間島行政改革の第一歩に邪魔
滿洲國任命の邦人官吏を高辦事署長が排斥

〔間島發〕間島居住四十萬鮮人が久しく期待してゐた間島行政改革は今回吉林公署特派間島辦事署を新設、從來の弊備を撤廢して改革の第一歩に入り辦事署總務科その他に内鮮人の滿洲國官吏を置き

＝特殊＝地帶である間島を滿洲國内の一理想郷たらしめることとなり、前朝鮮京畿道警務課長吉村秀藏氏は滿洲國政府より招かれ間島特派辦事署總務科長となり、また同道開城府尹金乘泰氏は行政科長に招かれ、兩氏は四月朝鮮總督府を辭し去る一日打ち揃ひ間島に赴任したところが辦事署長は吉林公署より何の通知にも接せず、兩氏が新任されたことは一向知らないと兩氏に對し劍もほろゝの挨拶をなし「一體何しに來たのか」との

＝態度＝で相手にせぬので、吉村、金兩氏とも立場を失ひ非常な恥辱を受け日滿各機關へ着任の挨拶も出來ず宙に迷つてゐる、高署長は間島延吉縣長から榮進したものであるが古くからの排日家で新政府の命に重きを置かず、今回の行政改革で鮮人を中心とする特別地帶の間島に内鮮人官吏が滿洲國政府から任命されたことは知らぬはずはないのだが極端な排日が禍ひして兩氏の

＝赴任＝を拒み間島行政の改善を妨害してゐるのであると間島の鮮人は勿論、滿洲人まで高署長の態度を非難しこゝに久しく問題の中心となつてゐた間島改革の第一歩がかくしてさまようてゐる

滿洲人をお得意に　大阪商品進出
來月四日から城内百貨店で盛大に展示會を開催

大阪府立貿易館新京分館ではかねて大阪と打合せ中であつたが同分館長實吉氏の歸京により愈よ六月四日より十日までの一週間城内の

＝百貨＝店協和商場の三階を借り受け大阪商品展示會を開催する事となつた、大阪商品は事變以來滿洲に長足の進出を遂げつゝある日本商品の大部分を占め、滿人間には根強い地盤を持つてゐるが今回の展示會により一層大阪商品の飛躍を見るものと一般に期待されてゐる右に關し實吉氏は語る

一ヶ月余り大阪に滯在し、商品の選擇、調査等を行つたが大阪商人は對支貿易不振の今日滿洲への販路については非常に

＝重大＝視し、大阪商品の滿洲進出に努めてゐる、最近は滿人向商品と云ふ樣なものはなくなり、日本商品に同化されつゝある事は事實である

醉拂ひ警官　檢事局送り

〔安東發〕既報新義州署勤務巡査暴行事件の藤井、塚崎兩名は其の後新義州憲兵分隊で取調べ中であつたが酒の上での事でもあり軍法會議に廻さず普通事件として檢事局送りとなる模樣、長友憲兵分隊長は檢事局を訪れ今後の方針に就いて打合せする處あり十七日送局されるらしい

可愛い應援で盛んな体育會
きのふ室町校舍で

室町小學校では既報の如く十八日午前八時より秩父宮殿下御成記念と學校創立記念の体育會を開催したこの日晝からぬ薄曇の絶好のスポーツ日和に惠まれた一同の

＝兒童＝は可愛い微笑を交しつゝ喜々として同校々庭に參集、型の如く國旗掲揚、皇居遙拜を終つて上原校長の開會の辭に次いで優勝楯及優勝旗の返還をなし競技に對する種々の注意を與へた後、岸ト訓導の勇ましい號令によつて一同はラヂオ体操に移り、先づ三男のランニングによつて今日の意義ある体育會のスタートを切つたが無邪氣な赤唇よりほとばしる聲援と可愛い拍手は各競技毎に起つてなり止まず哄笑爆笑の裡に和氣あいあいとして競技は

＝豫定＝のプログラムを辿り最後の整理運動によつて今日の體育會の幕を閉じ校歌と萬歳三唱によつて正午頃一同元氣に散會した

滿鮮脚戯大會決勝

〔安東發〕去る十二日より開始された安東朝鮮人有志主催の滿鮮脚戯大會は降雨の爲め順延中のところ十五日樂器も賑やかに決勝を行つた結果入賞者は次の如くで午後六時盛況裡に終了したが會場は白衣に埋まり熱狂したファンは物凄い聲援振りであつた

一等大牛一頭　玄明鎬（咸興）
二等中牛一頭　張大元（新義州）
三等小牛一頭　申夏湜（義州）
四等綿布一匹　金允明（義州）

尚ほ一等の玄明鎬君は全鮮脚戯界のAクラスで各地の大會に出場して獲得した牛が既に百四十三頭と云ふ素張らしさ、今回が百四十四頭目で好漢本年二十八歳の青年である

微苦笑
自動車受難のこと　小野寺さんは殘念

官廳用自動車の横暴？が近頃甚だしくなつたといふので所轄新京署の槍玉に上つた三台の中に（地方事務所）の自動車も加つてゐるといふので監督役の滿洲國廳務系主任小野寺さんー

「これはく、僕の方の運轉手に限つてそんなことはない筈だが……」

とは思つては見たもののさすがに氣になるとみえし早速運轉手を召喚、元檢察官の腕前よろしく鄭重取調べの結果、そんな事故は毛頭なく、恰度番號札を書き換へた當日の出來ごと、ただ「第十七號」この番號を聞いた新聞記者の第六感が動いたものと判明

「こんなことなら書き換へを一日二日遅らしたらよかつた…僕の方では特に皆樣には迷惑をかけぬやう呉れぐれも注意をしてゐるんです」

と如何にも口惜しさう。

吉林南方　匪賊袋の鼠となる

〔奉天十八日發國通〕吉林南方地區には殿臣、宋司令、毛團等の合流匪軍約五千が蟠居し治安を亂しつゝあるので、徹底的掃滅を期し八日吉敦線蛟河附近より行動を起した小林、寺岡兩〇隊は奉天、吉林警備隊と協力目下攻撃中であるが、敵は既に煙筒山東方地區に追ひ込められ今や全く袋の鼠となつた

戀を語る男に藝妓から訴へ
政春の情夫男下る

市内三笠町料亭泰東抱へ藝妓政春は病氣のため滿鐵病院に入院、加療中であるが馴染客住所不定福田稔（二五）が毎日病室を訪れ甘い戀をかたらひ風紀を亂してゐるを新京署に密告、呼出し取調中、突然大連逢坂町開春樓抱へ藝妓川邊靜子から同人に二百圓を詐取されたから説諭をして呉れとの願があつたため同署では直ちに福田を留置した

全滿洲各地で建國記念の大運動會
來月十八日一齊に開催する　準備委員會で決定

建國記念第二回大運動會準備委員會は十八日文敎部總長室で開かれたがその結果同大運動會は滿洲國体育協會主催の下に第三回以後は五月下旬の端午節に開催することとし本年に限り六月十八日に開催兒童學生を中心とし地方の狀況に應じこに一般も參加せしむることとしその種目は左の通り決定した

一般種目　△陸上競技、蹴球、排球、△特別種目　マスゲーム（体操ダンス）、國技武技團体競爭、余興競爭、假裝行列

なほ開催地は左の通り

新京、奉天、吉林、ハルピン、撫順、安東、鐵嶺、營口、遼陽、鞍山、四平街、開原、瓦房店、大石橋、公主嶺、本溪湖、頭橋、連山關、鷄冠山、鳳凰城、熊岳城、海城、蓋平、昌圖、鄭家屯、松樹、關東州（旅順、大連、金州、貔子窩、普蘭店）

本年新しく開催する都市　チチハル、承德、錦州、海拉爾、山海關、新民府、滿洲里、洮南、寧安、敦化、間島、克山、西豐、山城子、一面坡、呼蘭、綏化、海倫、通化、佳木斯、拉哈

國際オリムピックに參加を申込む　加納氏に依頼して

なほ此の機會に於て左の諸問題に付き希望の一致を見た

一、國技に關すること　滿洲國体育運動の向上を期せんとする見地より國技を決定しては如何との問題に關しては更に研究を重ぬることとなる

二、國際オリムピックの滿洲國參加に關すること　本年六月墺國ヴィン市に於て開催せらる國際オリムピック委員會に日本代表加納治五郎氏の出席せらるゝを期とし同氏の新京を通過せらるゝ際西山常務理事より正式參加手續書類を附託すると共に該參加運動に對する日本の絶大なる援助を依頼することとなる

三、國際陸上競技聯盟滿洲國加入に關すること　全日本陸上競技聯盟常務理事森田俊彦氏より滿洲國体育協會常務理事西山政猪氏宛首題友邦的勸誘に基き加入手續をとることとなる

海の地雷火
◇……海軍編……◇　魚形水雷の話

……（二十）……

＝海洋＝の城廓を誇る大艦が最も畏怖するのが此の魚形水雷である、排水三萬噸を誇る超弩級戰艦と謂も、艦側に一度此奴の御見舞を受けたが最期、艦は胴中から粉碎して暫くく中に海底の藻屑とされてしまふ

此の怖る可き魚雷にも五十三糎、四十五糎等の數種がある

＝魚雷＝を解剖して見ると五室からなる腹部と後部から構成せられてゐるが此五室の腹部を前から順次記して行くなれば、頭部、此處には一杯に火藥が充塡され、次が氣室、此處には壓搾空氣を充塡してこれが魚雷走力の原動をなし走力は三里半に及ぶ、續いて次は前部浮室で、浸水の深度を保つ樣に準備された深度機が裝置される、第四室目は

＝機械＝室で、主機械、機がある、第五室目は後部浮室で、他に縱舵機を收藏する、魚雷が發射されて水中に入ると、氣室から大壓力を有する空氣が、主機械、縱舵機、横舵機に入り、主機械は運轉を開始し、推進器に依つて魚雷は進行する。進行中左右の偏向は縱舵機が縱舵を動かして調節し

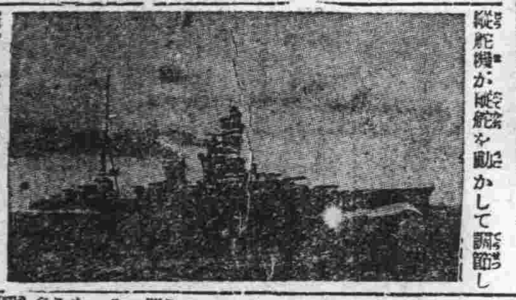
＝横舵＝上下の偏向は横舵機が横舵を動かして加減する深度が豫定を外れさうになれば水壓の變化に依つて深度機が働いてちやんと正位を保つ樣になつてゐる。

魚雷の發射は發射管に依るのが主で、これは鋼鐵製の圓筒で、これに魚雷を裝塡し壓搾空氣で押出すのである。

これにも水上と水中の二種があつて驅逐艦、巡洋艦には

＝水上＝發射管、潛水艦には水中發射管が、戰艦には兩種が併用される。

この外に落射機と云ふのがあつて驅逐艦、艇に用ひらるゝ簡單なもので、只に魚雷を舷側へ置いて必要の時海中に落る裝置になつてゐるものである、最後に魚雷一發に要する費用は約二萬圓と思へば大した間違は無い。



（圖は帝國海軍の精鋭日向。三一、三六〇噸の雄姿）

鈴蘭を賣る可憐な兒童達
賣上げ金を獻金　昌圖小學生の美擧

滿洲事變以來日本の朝野は擧げて獻金に慰問に國防の充實を續けてゐるが十九日より昌圖小學兒童は「すゞらん」を採取して小鉢に入れ滿鐵指定販賣人の手を通じ昌圖驛で一鉢十錢で廣く一般旅行者に賣りその賣上金を國防の爲獻金する事となつた、この試みは滿洲に咲いた可憐な兒童の愛國的發露として一般から賞揚されてゐる

護國の亡骸と傷病兵
大連を出發

〔大連十八日發國通〕反滿軍討伐戰に護國の鬼と化した歩兵中佐越特貞一氏以下七十四勇士の靈は午前八時半より埠頭待合所に於て、慰靈祭行はれた後十時出帆の「はるびん丸」にて戰友に護られ、大連市民多數の見送りを受け悲しき凱旋の途についた、又十時半出帆の「河南丸」では岡本二等軍醫以下六十一名の名譽の傷病兵が之亦盛んな見送り裡に轉地療養のため内地に向つた

ナンセンス映畫
與太者と藝者　無宿深編笠

長春座は十九日から三日間土曜日曜は晝夜に亘り松竹と右太プロの面白い映畫を提供する、右太衛門主演、天野及一、武井龍三、旗平八郎、歌川絹枝、小川雪子、都さくら助演の「無宿深編笠」全卷と結城一郎、阪本武、若水絹子、若水照子、突貫小僧、光川京子、市村美都子、河村黎吉共演の「與太者と藝者」全卷、どちらもナンセンス味たつぷりな一夜春宵の觀賞にふさはしいもの、

無宿深編笠は空腹の浪人修之助、義侠から賭場へ飛び込んだが悲しいかな愛刀は竹光危く彼の身がと云ふところで天の神樣が彼を救つた……與太者と藝者は没落した主家再興のために涙ぐましいまでに努力と忠勤をつゞける主人しかも與太者獨特の朗らかな笑ひと純情その笑ひの中に錦、涙、添へるに豊富もの、松竹全權の歸朝横濱入港から東京の大歡迎の實況、料金は階下六十錢均一で開放する筈尚次週は待望久しき五所平之助監督得意の作品大日方傳、田中絹代主演の伊豆の踊子、を上場するさうである

吉凶禍福

△新京祝町五丁目十四小泉秀三長女靜子、六日出生
△新京梅ヶ枝町四丁目十四二部克子、十六日午後一時死去

訂正

昨朝刊掲載近頃甚だしい官廳用自動車の交通道徳無視の記事中第十七號（地方事務所）とのありしも地方事務所とは何ら關係なきこと判明、訂正します

被雇度

會社、商店事務員、又雜用請負三十一歳、高等小學卒業、委細面知參上　笠町三丁目一杉旅館内　桂

十九日封切土曜日曜晝夜上映松竹と右太プロの名作揃ひナンセンス映畫
市川右太衛門主演本年度第一回作品
時代劇　無宿深編笠
結城一郎、若水絹子、花岡菊子、光川京子主演
現代劇　與太者と藝者
◎松岡全權横濱上陸より東京の大歡迎の實況
次週は待望の伊豆の踊子を上映します
階下六十錢開放
松竹共營　長春座

清酒　福鶴　新京　石川吟釀　電話三七五三番　フクツル

銘酒　菊正宗　白鶴　ビール　サイダー　新入荷　森川商店　テンワ3075

公認　鴨緑江白魚水産組合製造
鴨緑江名産　白魚ほまれぼし
到る處百貨店食料品店にあり
丸平洋行　電二六四〇

趣味と家庭

カフエ時代の影響と出入者への進言
ネオンとジャズの歡樂を廢せ
救世軍　山室軍平氏談（上）

現今カフエやバーが千種萬態の形相をもつて街頭に軒を並べ、それが又大繁昌を極むる世の中である、昭和六年末の總計に依れば、カフエ、バーの數は三萬七千四十一軒で女給の數は實に七萬七千三百八十一人の多きに達して居るから現在數は恐らく双方共二割内外の增加と見て差支へなからうと思ふ唯是れ丈の數字を見ても同時に斯る場所に出入する人々が如何に多數であるかを想像するに難くはない然らば何故斯る多數の人々が出入するかと謂へば『歡樂をきめ爲に』出入する人々であらう、成程カフエは簡單に飲酒も出來、若い婦人をからかひなどするには結構誂向の設備と考へられるのである

口

然し乍らカフエで見出す歡樂が果して眞實の歡樂かと謂ふに決して然うではないことは誰しも首背出來る事であるカフエで見出す歡樂は浮いた歡樂──不眞面目な歡樂であり、理性を混亂し、良心を晦まして始めて樂しみ得る所の歡樂である、從て如何に嬌態詰めの眞似をした所で胸中何んとなく物足りない思ひが殘るのみならず、遊散直後必ずや物的或は心的の禍が追ひ驅けて來るものである、芭蕉翁の所謂『河豚汁や鯛もあるのに無分別』と云ふ名句にピタリと合つてゐるではないか

眞の歡樂は清淨無垢の精神を以て正しき生活を營むに如くはない古語に『善を爲すこと最も樂し』とか、聖書の『神の國は飲食に非ず、義と平和と聖靈に依れる歡樂喜悦に在るなり』と謂ふ至言がある

かく考へるとカフエは歡樂を提供する所ではなく、禍と悲みと身の破滅とを與ふる所である

口

次にカフエ出入の目的を『世の中が面白くないから愁を拂ひ慰めを求むるに在り』と成す者もあるが、成る程現在の世界は面白くないことのみ多々ある世の中であるから、何處かに慰安を得たいと謂ふことは、私はこれを理解する事が出來る

初夏の景物
『金魚の飼ひ方と病氣の手當』

金魚の容器は幅の廣い硝子盤が最も結構です、水は水道の水より良質の井戸水がよろしいのです、水は土用までは一日おき、暑中は朝夕二回取替へます。

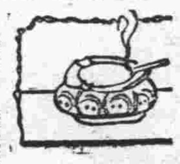
餌はカステラ、イトメ、アカゴなどです土用中は食物をへらさなければなりませんが、カステラならば、金魚の頭大のもの一つを五尾の金魚に對して、午前に一度だけ與へます、その他には絶對にやつてはいけません、土用過ぎたら分量には別に制限はありませんが、やはり午前中に一度だけ與へます、十一月頃までかうしておけば、冬中何も與へなくてもようしいのです、自然水も汚れませんから、水をかへる必要もありません、また時々金魚の体に黴が生じることがあります、がこれは病氣ですから他の金魚に傳染しないやうに別の器に隔離します、元氣が衰へてきた場合には、水一升の中に鹽を一摘み入れたものの器に入れて薄暗いところに半日ほどおいてやれば恢復します。

海の外から

□騒音と住者の脅威　米國スタイール會社の教師であるウ井リヤム。ブレイドホワイト博士は過去數年間に亘つて繁華な都市や市街或は郊外電車の沿線に住む住民の聽覺に就き鈍敏の程度を調査研究したところ定住期間が長ければ長いだけ彼等は騒音によつて聾者に近くなると謂ふ結論に到達した

□水差し様の給油スタンド　米國ヴァージニャ洲の某氏は豫て自動車用ガソリンスタンドで給油商を營み小金を貯めたので給油所の規模擴大を思ひ立ち、水さし様の二階建家屋を造つて從前通り營業を續けてゐるが建物が宣傳廣告となり此の所大繁昌さある

呉服ハ　中央通り　やまき呉服店へ　電話三八〇五番



絶好の關門
不思議に遠慮（十三）
黒頭巾評

局面は最早侵分へ入つたやうである。

こゝぞと力み出すやうな處はない。もうヂリ／＼侵分して行く丈けである。

こうなると黒としては誠に解り易い局勢である。

黒『□十四』の下りは蓋し絶好の關門であつた。

そこを閉鎖されては白聊か憂鬱の感なき能はずである。

白『□十五』は先手である。

黒『□十六』は（へ）へ粘いで置く方が得である。後で黒（ろ）と彫れるやうな機會が來ると二目の地が殖える勘定である微細な碁になると、こういふ處が勝負になるのであるから注意すべき事である。

白『□十七』は一寸御機嫌を伺ひに行つた姿であるが。黒は必ずしも應酬すべき場合でもない。で黒はこゝで『□十九』と綿ねて黒（へ）は（ほ）と伸びた時に黒（に）と押しても好いし又（ほ）と正直にでも一向差支し障りもない。

若し又黒（に）と押した時に白（ほ）と突き拔いたならば、黒は（へ）と綿ね白（と）黒（ち）白（り）黒（ぬ）白（る）の時に黒『□二十二』と曲つて行くのである。

黒『□十八』は不思議に遠慮したものである。（は）に粘きしたとて格別の影響もないやうである。

油斷はならぬ

白は何うにかして右邊から中腹へかけて多少の地域を獲得しなければ、この碁は勝目がないのだ。從つて黒は幾分たりともそれを防げる手段に出なければ、殊による黒とされないとも限らぬ。局勢が有利のやうでも油斷はならない。

白は『□十九』と伸びて白陣の厚壯を順致しながら新地開拓の意味をも兼ねた積りである。

黒『□二十』は哨線をもう一歩進めて（を）の邊へ出張して見たかつた。

地を確定

黒『□二十』と綿ねたので後で白に（わ）と出鼻を約へらて勢力が鈍い。

白『□二十二』の約へは、それを等閑にすると、黒に（か）と飛び出されるのは非常に大きい處であるし又殆ど先手でやられるから堪まらないのである。

で黒も隙かさず『□二十二』と約へ綿ね、白『□二十三』と約へ『□二十四』と粘ぎ白『□二十五』と掛け粘りてこゝの折衝も終り、轉じて黒『□二十六』と綿ね白『二十七』と約へ黒『□二十九』と粘りて、この隅約二十目ばかりの地を確定した譯である。

參る

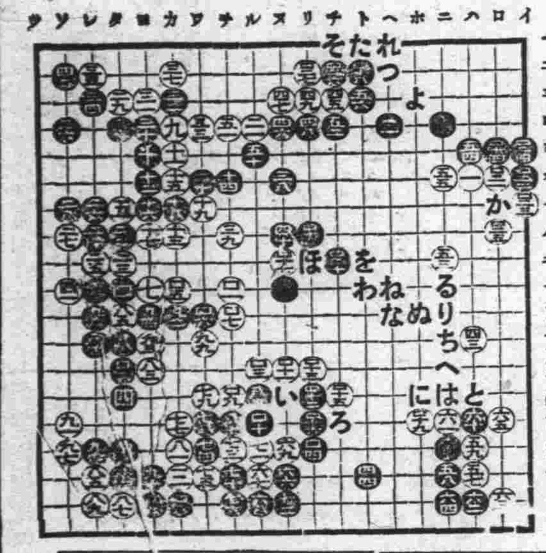
これ位で黒も一應勝てさうではあるが、この隅は黒が手を拔いたとて白には急激に（よ）と打ち込んで見る手もはいし、只白『□二十六』と下り黒『□二十八』と約へ白（た）黒（れ）白（そ）黒（つ）と白が先手で多少の得を計る位のものであるから、一層黒（ね）の邊りへ躍進して白の模様を消しに行く方が、より以上の効果があつたやうである。

白（ぬ）なら黒（な）と押すのだから恐らくは白が參る所であつたらう。

圍碁新手合（一局の十三）

三段　石[illegible]行誠
五子　高橋直次

ナノ十四　リノ十五　リノ九　リノ八　ホノ十五　チノ九　ロノ六　イノ六　イノ七　イノ五　ロノ八　チノ二　リノ二　トノ二



野菜相場

新京市場小賣相場表　五月十九日「菜果之部」

種別	値段
白菜	八・四
サツマ芋	四・三
山芋	一〇・〇八
フタ子芋内地	二〇・一五
蓮根	一六・一四
丸大根	〇六
玉葱	〇八・〇九
生姜	二〇・一二
ワサビ一	五〇・六〇
玉菜	〇五・〇四
馬鈴薯	〇三・〇二
ユリ子	五〇・二五
セリ内地	一五
春菊大連	〇三
林檎	一三・一〇
天津梨	一五・一二
テーブル	四〇

種別	値段
蓬蓮草大連物	一一・一〇
里芋	一〇・〇八
赤芋内地	一五
牛蒡	〇五・〇四
白大根「大連」	〇八・〇六
赤大根	〇六
人參	二〇・三〇
ウド	三〇・二〇
内地葱	一〇・〇八
カブラ大小	一〇
水菜同	〇八
ミツ葉大小	二〇・〇五
ワケギ内地	〇五
胡瓜内地	一二・〇五
内地梨	二五・一八
ミカン	一五・一二
西瓜	二〇

滿洲丸　天草丸　雄基清津出帆　每月三回

野遊會場設備請負

運動會……縣人會……家族會など野遊びのシーズンとなりました、例年の通り野外會場の設備、會場の裝飾など萬端一切請負致します

跡片付なども一切責任を持ちますドーゾ本年も御不斷御利用ください

新京常盤町一町目（神社南側）

新京土建現業員組合

組合長　高岡宇佐之助

申込所　電話二七七二番、二七七六番

記念品　表彰品　贈呈品　御用達

高級美術商　金華號

本店　大連市山縣通り七十七番地　支店　新京日本橋通り六三番地

金銀・賞洋盃　煙草具・花瓶類　茶器・置物類　美術工藝品一切

（滿洲國向美術七寶燒特賣）

羽根蒲團の購買會を初めました

御加入を願ひます

御一報次第お伺ひ申ます

羽根蒲團製作販賣　山本商店

吉野町二丁目（北滿旅館南）

取次電話二三三一番

御藥の御用は是非御電話にて

電話　二四七六番　二六〇二番

吉野町二丁目一番地

東亞號藥房

鞄と靴

無批判の道を行く同業界に沈默を破て立ちし大長洋行が一九三三年劈頭に投ぜし巨彈

萬人均等しく渇望の的

見よ高らかに叫ぶ我等が躍進振を

大長洋行製靴部　營業部

大經路第三市場二十號

外交員募集──市内要保證人二名

民刑事訴訟事件　法律顧問及鑑定　貸地貸家の管理　諸契約書の作成

辯護士　黒田實法律事務所

新京ビルヂング二階十九號

營業種目

東亞ペイント會社製品

セメント防水劑「ウオータイト」

膠着劑　菱光グリユー

日進式メタルラス類

川崎工場製鐵網類

ヤマト・コントローラー

内外洋服地並附屬品卸

新京日本橋通廿五番地（電話三七三一番）

加藤洋行新京支店

本店　天津、支店　大連、奉天、大阪、東京

斬新なる

羅紗地豊富入荷

御用命ハ明日ト俟ず直ちに

新京宮町小學校前　井上洋服店　電話三七六四番

本店　大連大山通り六一

鐵骨　土木　建築

陸軍省　關東軍　指定請負業

設計施工　服部組

出張所　新京住吉町二丁目八番地　電話三九六三番

本店　奉天浪速通三五番地　電話（長）三七六九番

出張所　齊々哈爾正陽大街一八五番地

石炭　仁和洋行　電話二三四七一　二五八二

初心者ニハ御電話次第

御指導ニ參上致シマス

「カメラ」と「ガクブチ」は

乾寫眞舘販賣部を

新京吉野町二丁目　電話二三九〇

均質牛乳の特徴

一消化吸收を理想化したる牛乳

一人乳に等しき牛乳

一幼兒虚弱者に最適の牛乳

一下痢便秘吐瀉を起さぬ牛乳

一特に衛生設備の完全なる處から扱はれたる牛乳

◉牛乳の消費量は文明の尺度なり

牛乳の覇王均質牛乳現る◉先づ健康は衛生より

牛乳の取扱は最新式自動機で致しますから至極衛生的です

牛乳の御用は風光明媚の地に牧場主の終生の大事業として建設したる最も理想的諸設備の完備したる

三宅牧場　電話二〇八八番

子を愛する母よ虚弱者よ

百聞は一見に如かず御來觀を乞ふ

食料品と雜貨は

市場の日華洋行へ

配達は飛行式

電話三三四三　三八二五番

森永ミルクキャラメル

森永ベルトライン

市場内　峰長春堂支店

黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第六十五回

黒船の難題（二）

出張番屋附屬の板倉に、監視をつけて預かつてある兇狀持の松井白軒を引出し、傳馬船へ乘せて沖の黒船へ伴ひ、通譯官乾典膳ならびにいまは洋妾の紫園のお愛の前へ突きつけ、典膳の化の皮をヒン剝いてやらう……といふのが格之進のいふところの妙案だつた。

もちろん、白軒の兇狀を調べ上げ、江戸へ護送するためにニゴリナイの岩道で召捕つた武七郎や左京の腹でもなく、やはりフランス軍艦の策動に探りを入れ、主君松前崇廣の內命を全うしたいといふ熱意にもえてゐる二人だから、格之進の持出した案に、一も二もなく贊同したのはいふまでもないことだ。

そこで三人は、徒目付兩名の諒解を得て、そのまゝその場を引拂ひ、すぐにも板倉へ急いだ。

——思ふつぼにはまつたわい。

格之進は、ひそかにまたこゝろのうちにほくそ笑むだ。白軒、典膳の二人を北方探檢家兩名の手に渡し、いよ〳〵おのれは紫園を獨り占めにする時が來たとおもつた。こんどこそ紫園も、おのれのいふがまゝになるだらう……とかたく信じられた。

が、その格之進のよろこびも、どうやらぬかよろこびに終るらしい。彼等三人が勇んで驅けつけた濱の板倉——いはゞ出張番屋の留置場が、白晝、しかも出張番屋付近にかゝはらず、只ならぬ凶變の跡を曝してをつた。

見るといつも嚴丈に鎖されてあつた六尺板戸が內へ倒れ、張番の足輕一人が、仰向け樣に無殘な死を遂げてをつた。そして、四邊の砂地には黒く血の點滴……。

『やゝこれは！』

『おゝ……』

『………』

三人三樣の驚愕の表情だつた。すぐに板倉の內部へ飛込んでいつたが、天日輝く白砂の上を歩いて來た眼には、暗い板倉の中を、しばし見極めがつかなかつた。たゞ屋內の片隅に、人のうめくやうなかすかな聲がしてゐるのをたよりに

——誰？

血氣の左京は、眞つ先にうめき聲のする片隅へ進んだ。

『誰だや。白軒はをらぬか』

が、手さぐりの、その手に觸れたものは大切の白軒ではなく、一緒につないで置いたアイヌ娘チブヌイのねち〳〵した髮の毛だつた

『おゝ、おまへはチブヌイ！白軒はどこへ參つた。』

苛立たしく叫んで、チブヌイの身を引起こした。

武七郎、格之進の兩名も傍へ寄つて來た。

『チブヌイ、おのれはあの白軒を逃がしてやつたな！』

これは、格之進の喰しばつた齒のあひだからもれる聲だつた。が

『いゝえ……』

チブヌイは苦しい息の下からそれを否定した。

『何、では、誰があいつを逃がした？』

『フラメといふメノコが、佐次郎しやまを、わ、わしから奪つて、いきました……』

『フラメ？……おゝ、あのニゴリナイの鍛冶小屋の獱千島だ。畜生仕返しをしやがつたか……して、白軒の佐次郎奴を、奪つて行つたのは、フラメ一人か？』

『鍛冶小屋の親父とふたりて』

『おまへは、むざ〳〵指をくわへて見てゐたのか』

『いゝえ、張番の和人とふたりて佐次郎しやまを取返さうとして、このとほり……』

チブヌイは苦しげに暗い中でおのれの傷手を示した。

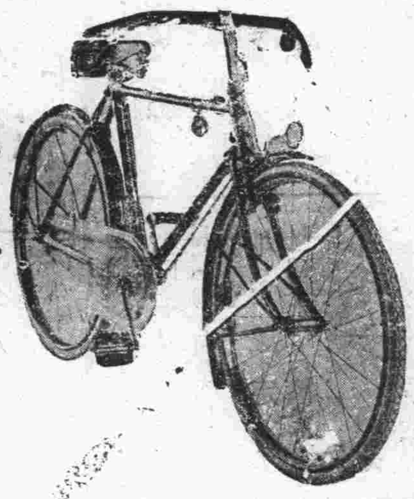
損害豫防機關

取引先信用調査
緣談先身元調査
各種企業調査
人事秘密探偵
經濟事情內報
貸借整理代行

秘密嚴守
料金低廉
十餘年前創業
全國各地聯絡

新京老松町十一
新京興信所
電話三三五〇番

▲建築のスピード化
國都建設局の方針を體し
優美最新式建築法を以て堅固最短日に完成
工事の大小を不問御一報次第即時技術員を伺はせます
監督工事
土木建築
設計評員
昭和土木合資會社新京出張所
事務所入船町四丁目拾九番地
電話長二九九三番



自轉車にオートバイの御用命は——
各種自轉車
オートバイ
特約店
池畑自轉車店
東一條通
電話三四二三番

日本トランス
蓄音器
廉賣店

カフエー
——新京の花——酒と女は滿點——
東洋軒
東一條通
電話二四三六番

會席料理
大辰
三笠町四丁目十四番
電話二九八八番

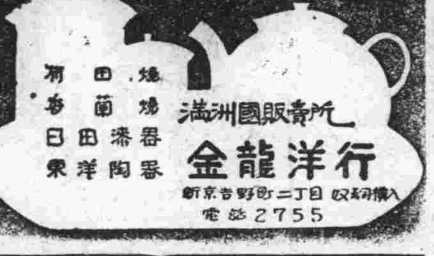
日本橋通
電氣の店
和登洋行
電話二〇四〇
電燈工事。照明器具
ラヂオ。モート
電話機。ベルト

新京ノ青柳
新京一のニンキはツネに新京一のカチを有す
簡易輕便
調味卓越
青柳の鯛すき
食道樂
アオヤギ
祝町鮮銀北側
電話三〇九〇番

內科　小兒科
性病　痔疾科
アヘン、モヒ
ヘロイン中毒
入院隨意
隨時往診應需
松本醫院
日本橋通郵便局前
電話三七五六番

盛京時報
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歷史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を占む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也
本社 奉天
支社 大連 新京 哈爾賓 大阪

（一）安神散　應利自報恩寺代々の住職製劑
（二）花柳病、皮膚病　神經痛リウマチス、眼病、耳鼻咽喉、白帶下、頭痛、便秘、等一週間分服用すれば必らず效果あり
（三）ラミー　本劑は性病予防根治藥にして諸種の性病治療劑の追隨を許さず
（四）五月一日より産婆武田姉を聘し開業致しましたして親切叮嚀に御取扱ひしますから何卒よろしく！
胃傷病特効藥並下熱セキ止メ肺炎の妙藥あり
新京室町三丁目七
公學校前
吉光堂療院
電二七三六



御料理
八千代館
長春吉野町
電話三〇九七番

開店
建築金物
鐵洋釘平浪板
諸材料
（本店、安東、支店奉天、新義州）
井原新京支店
新京富士町一丁目
電話長三四七二三

高級
●鋼鐵輪鉞力細工●
共和商店
新京富士町六丁目二
電話二三二七二番

●春宵ひとゝきの行樂は一樂へ
城內大馬路に輝くネオンサインの軒燈は一樂でございます
三部屋ブツ通しの大部屋の改築も出來上りました本場仕込の板場が腕に覺への料理に酒は灘の生一本
柏車をかけての美人のサービスを以て皆樣の御引立に添ひます
春宵ひとゝき行樂は一樂へ！
城內大馬路　料亭　一樂
電話三七三〇番

土木建築、上下水道等勉强して御相談に應じます
設計
施行
新京工務所
中央通十一
電話二三一一

酒よし●味よし●女よし
東一條通
精養軒
電話二三〇七

タクシーの御用は
電話二三三二九番
高級貸切
大滿タクシー

皮膚、泌尿科
外科、性病科
同仁醫院
富士町二　電話二六〇六番
診療（自午前九時至午後五時）日曜祭日午前中